

# 消 防 統 計

## 平成25年中



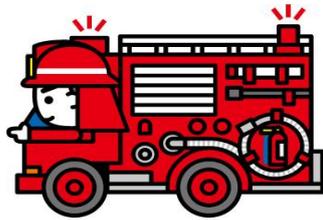
草加1号車  
平成26年1月  
消防署配備

救急谷塚1号車  
平成26年1月  
谷塚ステーション配備



## 草加市消防本部

# 平成25年草加市 火災・救急・救助出動件数



## 【火災出動件数】

	平成25年	平成24年	増減
火災出動件数	56	64	△ 8
建物	31	35	△ 4
車両	5	9	△ 4
その他	20	20	0

## 【救急出動件数】



	平成25年	平成24年	増減
救急出動件数	10,427	10,537	△ 110
火災	41	44	△ 3
水難	4	1	3
交通	1,212	1,202	10
労働災害	81	88	△ 7
運動競技	51	49	2
一般負傷	1,447	1,351	96
加害	151	155	△ 4
自損行為	134	148	△ 14
急病	6,669	6,942	△ 273
その他	637	557	80
救急支援 出場件数	1,441	1,227	214

## 【救助出動件数】



	平成25年	平成24年	増減
救助出動件数	110	110	0
火災・建物	8	12	△ 4
火災・建物 以外	0	2	△ 2
交通事故	23	28	△ 5
水難事故	4	2	2
機械事故	3	1	2
建物事故	57	56	1
その他	15	9	6

# 消防統計目次（平成25年中）

## 【火災統計】

火災の概要	P 1
月別火災発生状況	P 2
火災種別発生状況	P 3
建物火災用途別発生状況	P 4
車両火災用途別発生状況	P 5
その他火災用途別発生状況	P 6
建物出火箇所別発生状況 No. 1	P 7
建物出火箇所別発生状況 No. 2	P 8
時間別覚知状況	P 9
町名別火災発生状況	P 10
担当区域別件数	P 11
原因別火災発生状況 No. 1	P 12
原因別火災発生状況 No. 2	P 13
近年の推移から見る 平成25年の特徴	P 14
近年の火災原因の推移について	P 15
過去10年間の火災概況	P 16
緊急消防援助隊の登録状況	P 17

## 【救助統計】

救助活動状況の概要	P 30
事故種別救助出動状況	P 31
事故種別救助活動状況	P 32
事故種別救助人員	P 33
平成25年中の主な 救助活動事例	P 34

## 【救急統計】

救急業務の実施状況	P 18
事故種別出動件数・搬送人員	P 19
町名別救急出動件数	P 20
救急隊別出動件数・搬送人員 No. 1	P 21
月・曜日・時間別出動件数	P 22
現場到着所要時間別出動件数 (出場～現場到着)	P 23
現場到着所要時間別出動件数 (覚知～現場到着)	P 24
年齢別傷病程度別搬送人員 No. 1	P 25
年齢別傷病程度別搬送人員 No. 2	P 26
事故種別傷病程度別搬送人員	P 27
発生場所別搬送人員状況	P 28
市民に対する救命処置の講習会	P 29

## 【119番統計】

119番通報状況	P 35
平成25年火災報知専用電話等 (119番)種別受信状況	P 36



# 火災統計



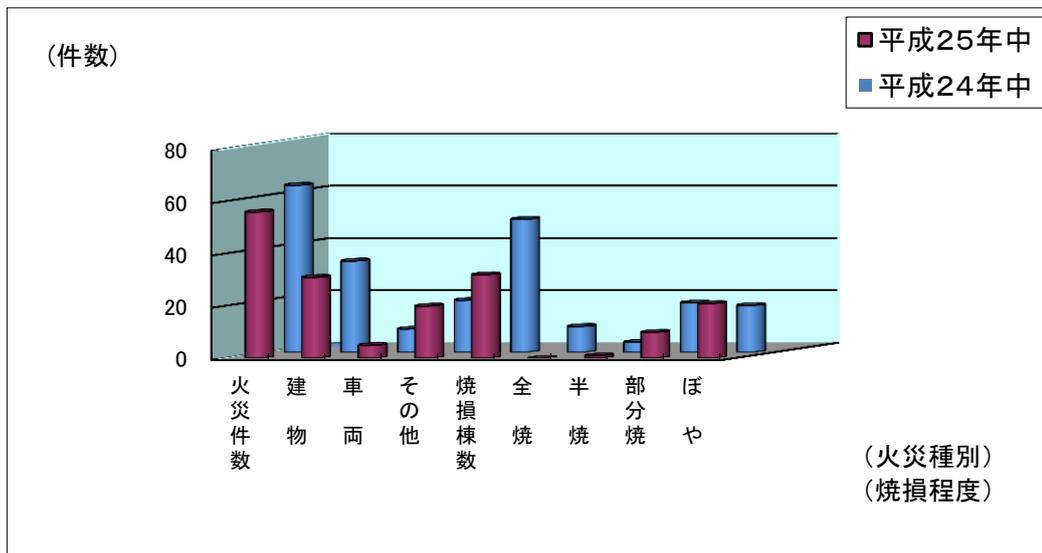
# 火災の概要

	単位	平成25年中	平成24年中	増減
火災件数	件	56	64	△ 8
建物		31	35	△ 4
車両		5	9	△ 4
その他		20	20	0
焼損棟数	棟	32	51	△ 19
全焼		0	10	△ 10
半焼		1	4	△ 3
部分焼		10	19	△ 9
ぼや		21	18	3
焼損床面積	m <sup>2</sup>	165	1,128	△ 963
焼損表面積	m <sup>2</sup>	35	137	△ 102
死者	人	1	1	0
負傷者	人	2	7	△ 5
り災世帯	世帯	23	42	△ 19
全損		1	10	△ 9
半損		1	6	△ 5
小損		21	26	△ 5
り災人員	人	53	103	△ 50
損害額	千円	53,340	83,895	△ 30,555
建物(収容物含む)		41,745	76,709	△ 34,964
車両		11,200	6,513	4,687
その他		395	673	△ 278
出火率	%	2.3	2.6	△ 0.3

※ △は減数を表す。

※ 出火率は、火災件数／草加市人口×10,000にて算出する。

※ 焼損棟数は類焼含む。



# 月別火災発生状況

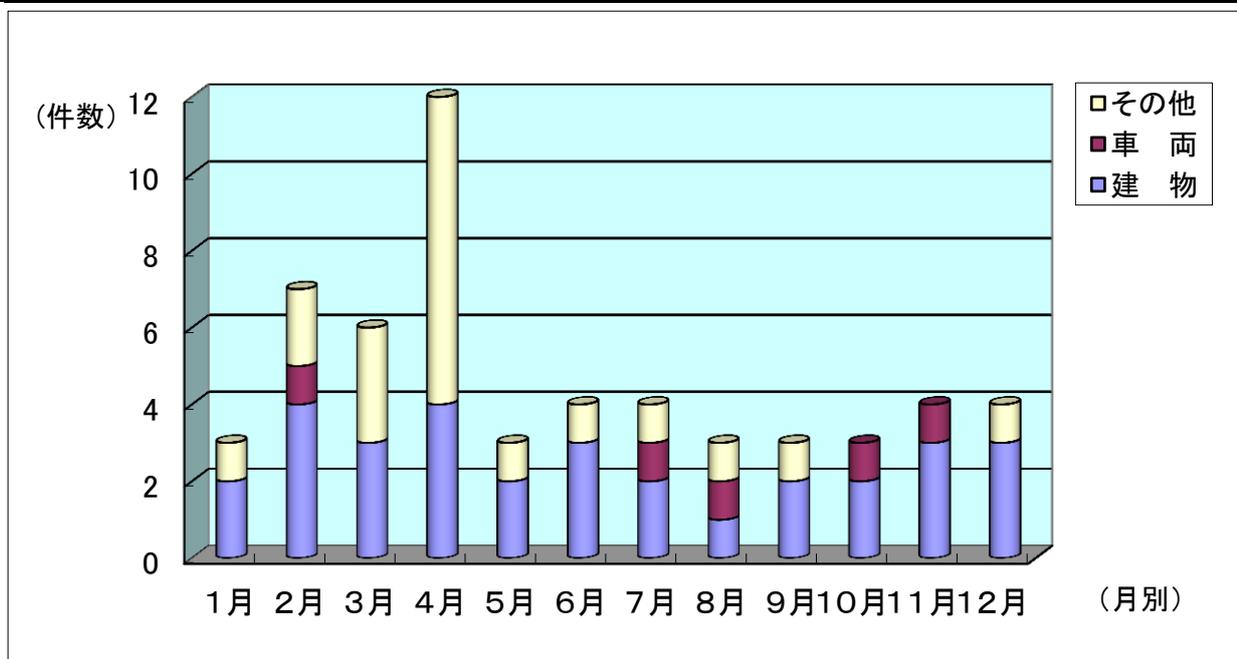
月別に火災件数をみると、4月の12件が最も多く、2番目は2月で7件の火災が発生しました。

建物火災の件数を月別で見ると、2月と4月の4件が最も多く発生しましたが、火災の多発期に多い傾向ではなく、年間を通して発生し、特に特徴的な傾向は認められませんでした。

平成25年中の火災件数は56件で、前年と比較すると8件減少し、過去10年間で最も少ない年になりました。

建物火災及び車両火災の件数はそれぞれ4件減少し、その他火災については、前年と変わらず20件発生しました。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
建 物	2	4	3	4	2	3	2	1	2	2	3	3	31
車 両		1					1	1		1	1		5
その他	1	2	3	8	1	1	1	1	1			1	20
計	3	7	6	12	3	4	4	3	3	3	4	4	56



# 火災種別発生状況

火災種別ごとの平成25年中の火災発生状況の特徴は、次のとおりです。

## 建物火災

建物火災の件数は、31件で前年より4件減少し、火災総発生件数に占める割合は55%です。

住宅(専用・共同)からの出火は、19件発生し、前年より2件減少しました。

死者は、前年と同様で1人、負傷者は、2件で前年より5名減少し、いずれもたばこの不始末が原因でした。

また、焼損床面積は前年より963㎡、焼損表面積は102㎡とそれぞれ大幅に減少しました。

## 車両火災

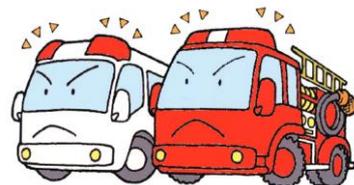
車両火災の件数は5件で、前年と比べて4件減少しました。

主な出火原因は、衝突による火花、電気配線の短絡、また、ライターの火種が滞留した可燃性ガスに引火し、出火した事例が発生しました。

## その他火災

その他火災の件数は20件発生し、前年と同様でした。

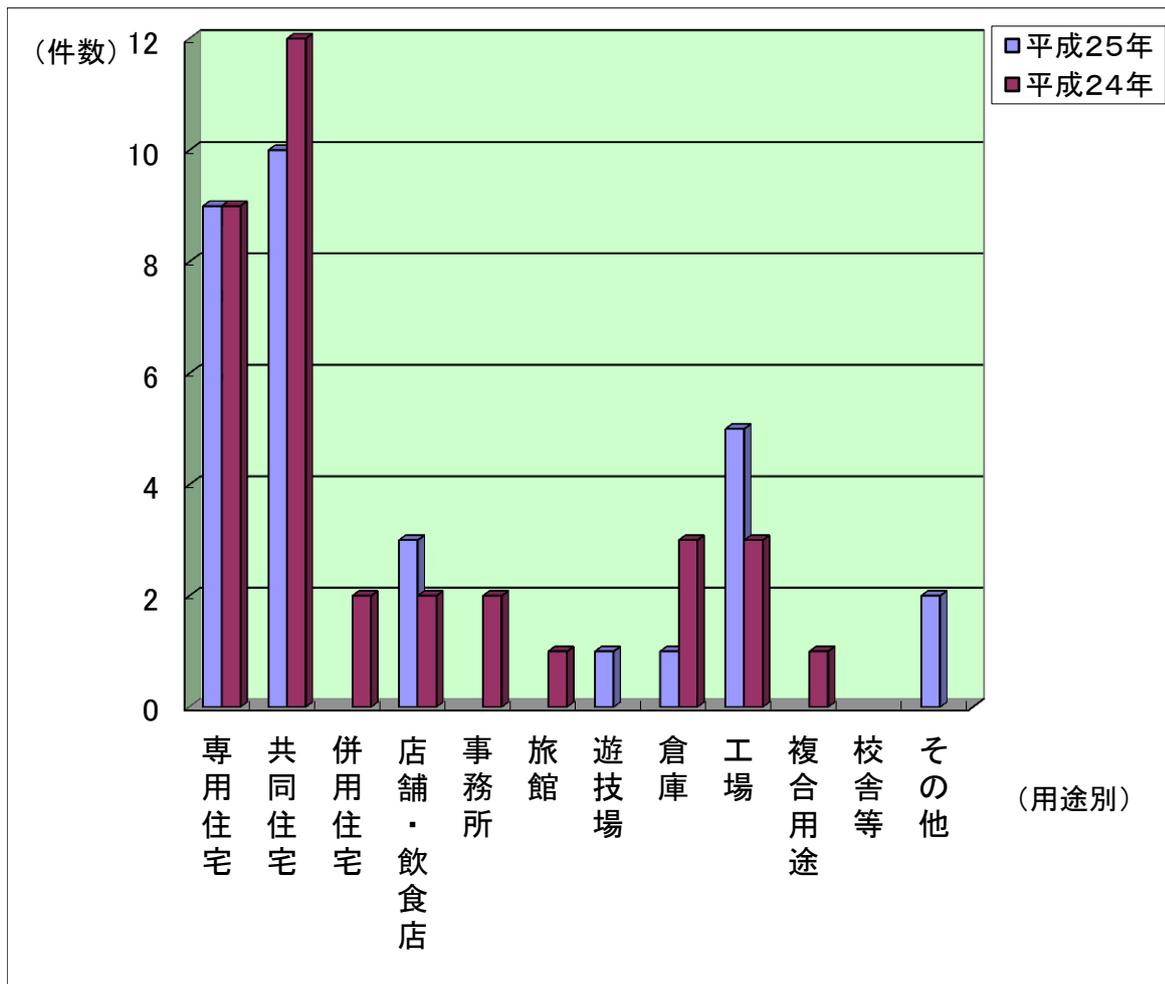
20件中、13件が放火又は放火の疑いが原因でした。



# 建物火災用途別発生状況

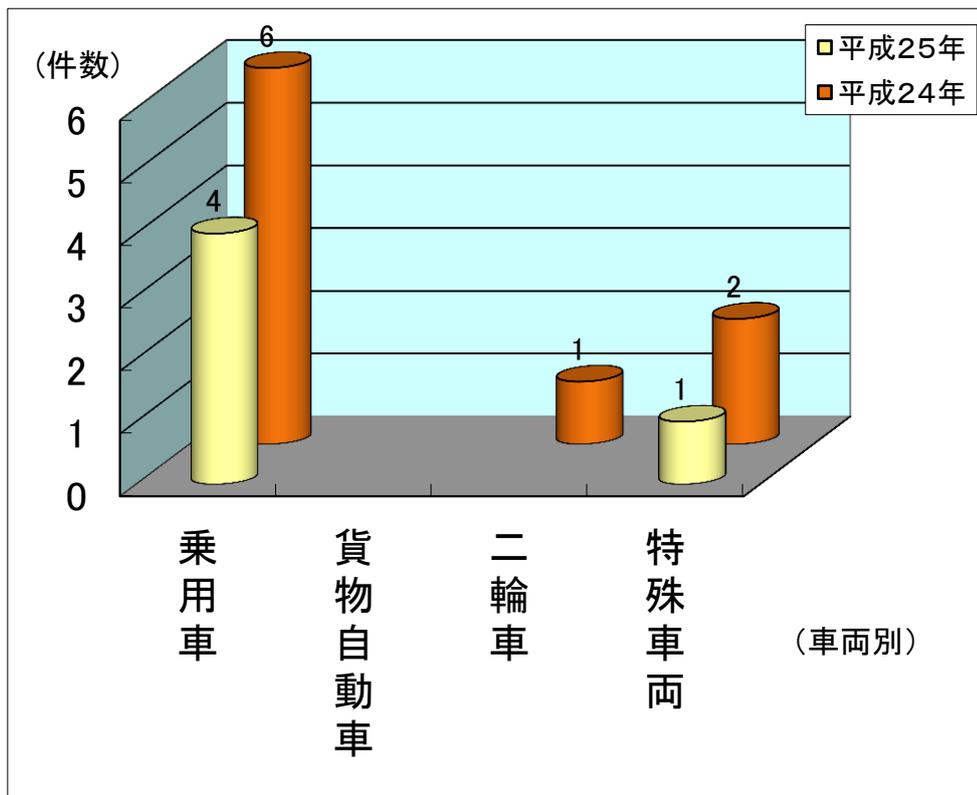
	平成25年	平成24年	比較増減	平成25年中の主要原因			
				放火	こんろ	たばこ	その他
専用住宅	9	9	0		2	1	6
共同住宅	10	12	△ 2	1	4	2	3
併用住宅		2	△ 2				
店舗・飲食店	3	2	1		1		2
事務所		2	△ 2				
旅館		1	△ 1				
遊技場	1		1			1	
倉庫	1	3	△ 2				1
工場	5	3	2	1			4
複合用途		1	△ 1				
校舎等			0				
その他	2		2	1			1
合計	31	35	△ 4	3	7	4	17

※ 放火は放火の疑いも含む。



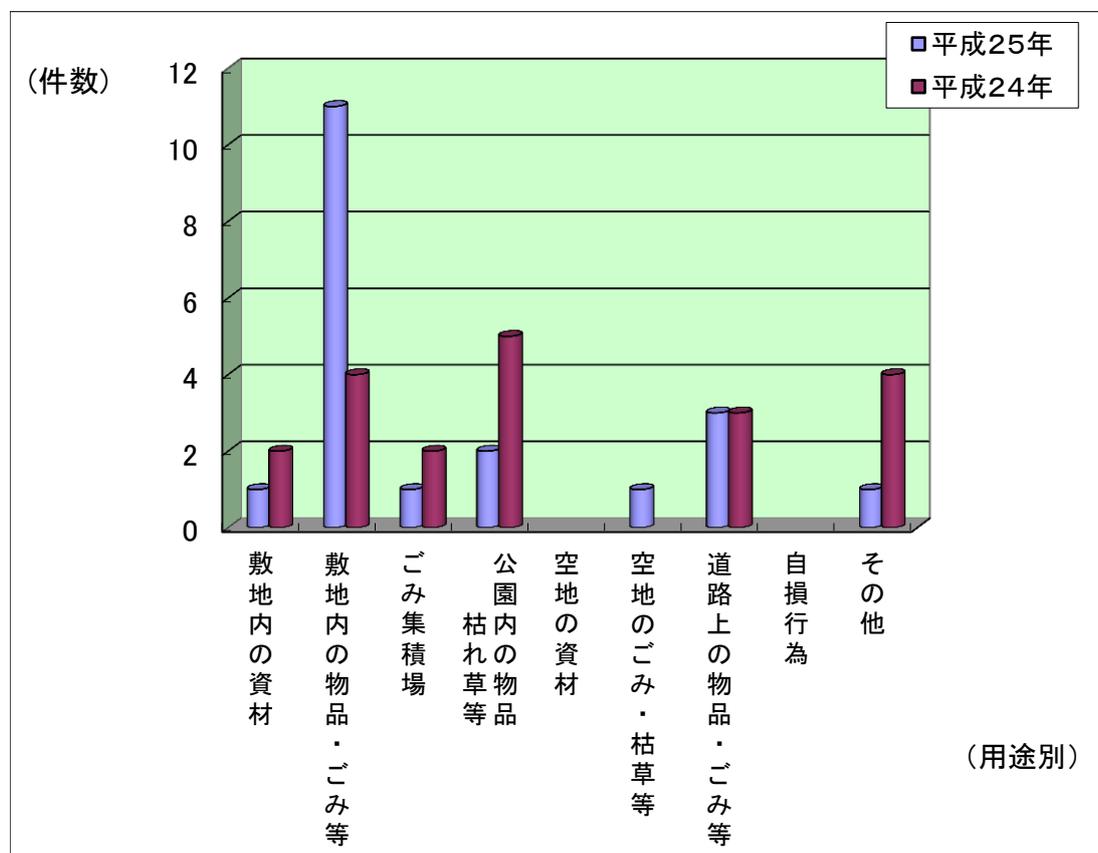
# 車両火災用途別発生状況

	平成25年	平成24年	比較増減
乗用車	4	6	△ 2
貨物自動車			0
二輪車		1	△ 1
特殊車両	1	2	△ 1
合計	5	9	△ 4



# その他火災用途別発生状況

	平成25年	平成24年	比較増減
敷地内の資材	1	2	△ 1
敷地内の物品・ごみ等	11	4	7
ごみ集積場	1	2	△ 1
公園内の物品 枯れ草等	2	5	△ 3
空地の資材			0
空地のごみ・枯草等	1		1
道路上の物品・ごみ等	3	3	0
自損行為			0
その他	1	4	△ 3
合 計	20	20	0



# 建物出火箇所別発生状況

No.1

建物火災の発生件数は、前年より4件減少しました。

出火箇所の上位は、台所と居室の9件ずつ、次に工場・作業所の4件となっております。

台所からの出火は前年より4件増加し9件となり、内6件がこんろが原因となっています。

工場・作業所からの出火は2件減少しましたが、この3箇所からの出火が建物火災全体の71%を占めています。

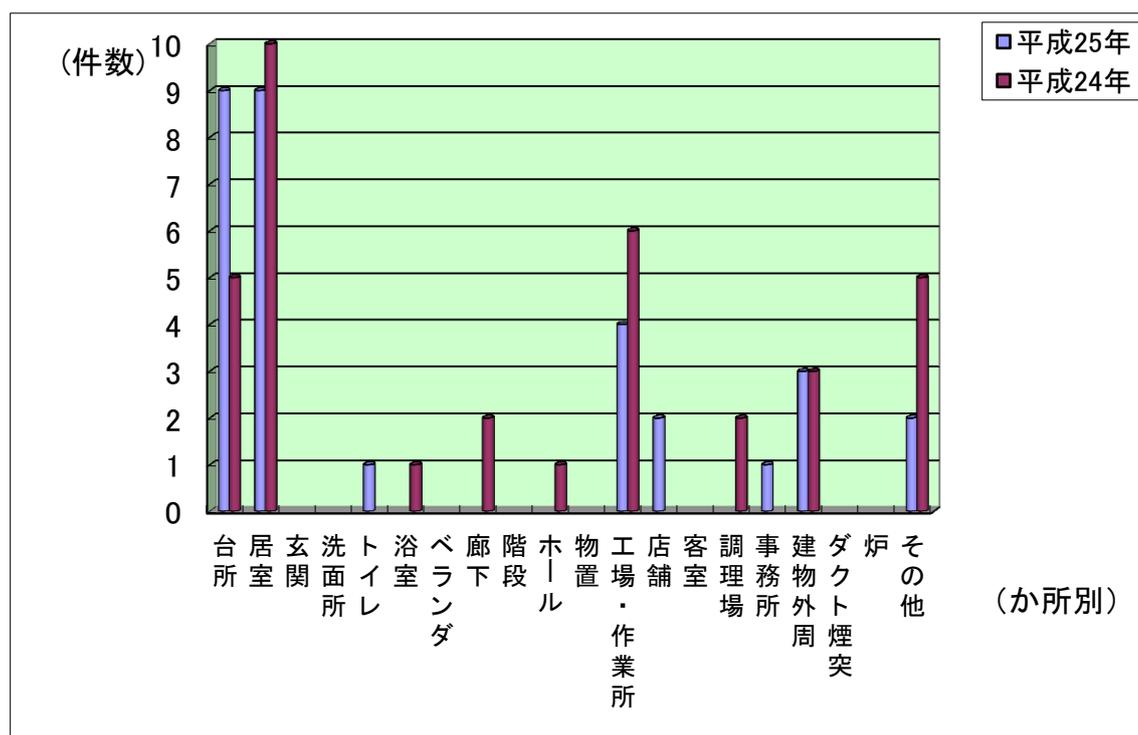


# 建物出火箇所別発生状況

## No.2

	平成25年	平成24年	比較増減	平成25年中の主要原因			
				放火	こんろ	たばこ	その他
台所	9	5	4	1	6	1	1
居室	9	10	△ 1			2	7
玄関			0				
洗面所			0				
トイレ	1		1	1			
浴室		1	△ 1				
ベランダ			0				
廊下		2	△ 2				
階段			0				
ホール		1	△ 1				
物置			0				
工場・作業所	4	6	△ 2				4
店舗	2		2		1		1
客室			0				
調理場		2	△ 2				
事務所	1		1			1	
建物外周	3	3	0	1			2
ダクト煙突			0				
炉			0				
その他	2	5	△ 3				2
合計	31	35	△ 4	3	7	4	17

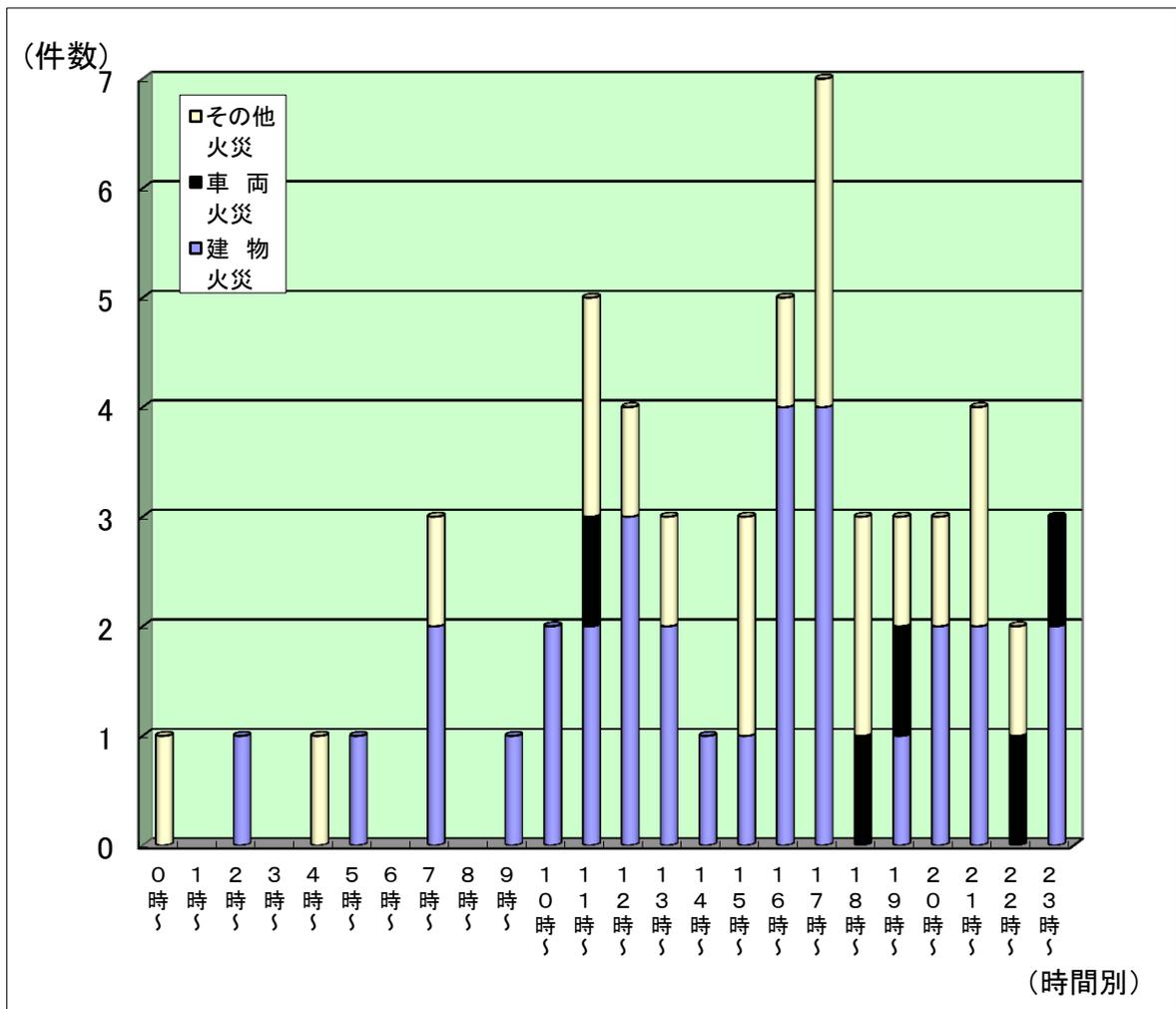
※ 放火は放火の疑いも含む。



# 時間別覚知状況

	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	合計
建物火災			1			1		2		1	2	2	3	2	1	1	4	4		1	2	2		2	31
車両火災												1							1	1			1	1	5
その他火災	1				1			1				2	1	1		2	1	3	2	1	1	2	1		20
合計	1	0	1	0	1	1	0	3	0	1	2	5	4	3	1	3	5	7	3	3	3	4	2	3	56
放火等	1		1		1			1				2		1			2	1	2	1		3	1		17
その他の原因						1		2		1	2	3	4	2	1	3	3	6	1	2	3	1	1	3	39

※ 放火等は、放火及び放火の疑いをいう。



## 町名別火災発生状況

平成25年中の火災総件数を、町名別に見ると次のとおりです。  
 最も発生件数の多いのが中根、氷川町、弁天の4件で、次に8つの地域で3件発生しています。  
 24年中、最も多かった吉町は6件、柿木町も5件減少しました。  
 また、平成25年中、火災がなかった地域は16の地域で、24年中より3つの地域が増加しました。

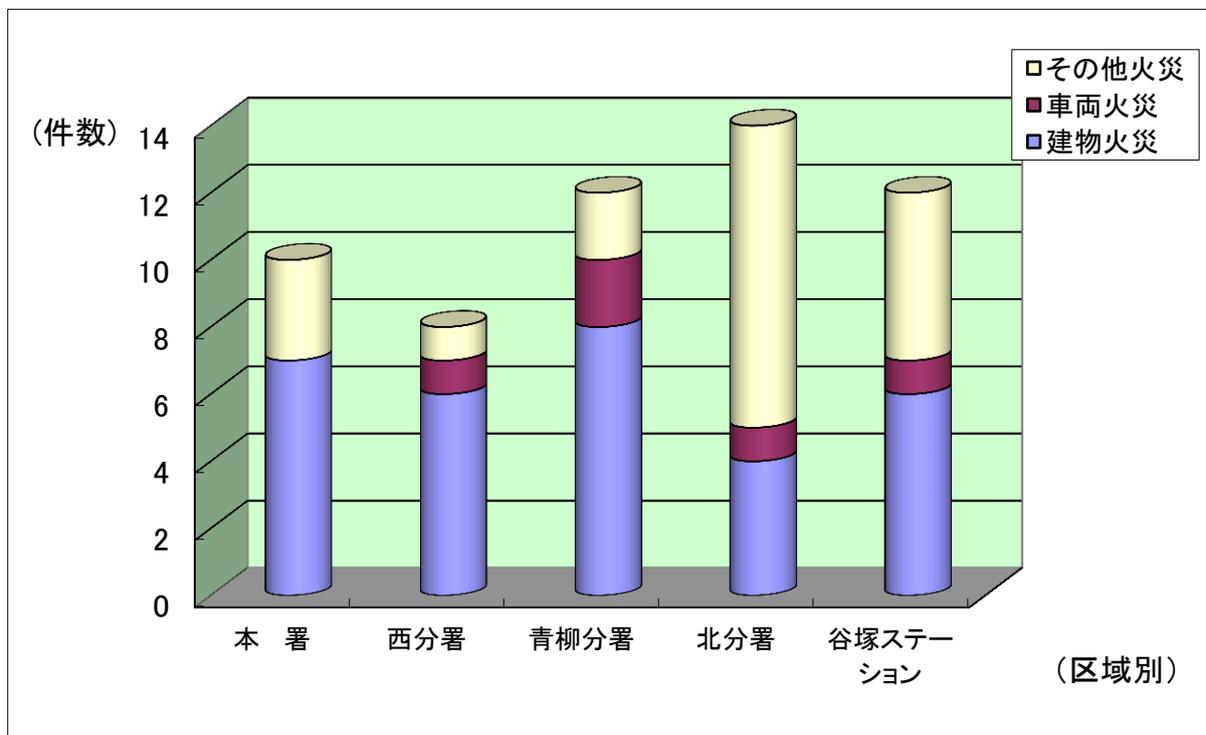
## 町名別火災発生件数一覧

町名	平成25年	平成24年	町名	平成25年	平成24年	町名	平成25年	平成24年
青柳	3	3	神明		1	原町	1	
青柳町		1	住吉			氷川町	4	6
旭町	3	2	清門町	1	1	弁天	4	3
遊馬町	3		瀬崎	3	5	松江	1	
稻荷	1	2	草加		3	松原	2	
柿木町	1	6	高砂		2	谷塚		1
学園町			中央		1	谷塚上町	3	2
北谷	1	1	長栄町	1	3	谷塚仲町	2	
北谷町			手代町	1	1	谷塚町	3	1
金明町	3	1	苗塚町		1	柳島町		1
小山			中根	4	2	八幡町		2
栄町	2	1	西町	1	1	吉町	2	8
新栄町	3		新里町		1	両新田西町	2	
新善町	1	1	花栗			両新田東町		
<b>合計</b>							<b>56</b>	<b>64</b>



## 担当区域別件数

	建 物 火 災	車 両 火 災	そ の 他 火 災	合 計
本 署	7		3	10
西 分 署	6	1	1	8
青 柳 分 署	8	2	2	12
北 分 署	4	1	9	14
谷 塚 ス テ ー シ ョ ン	6	1	5	12
合 計	31	5	20	56

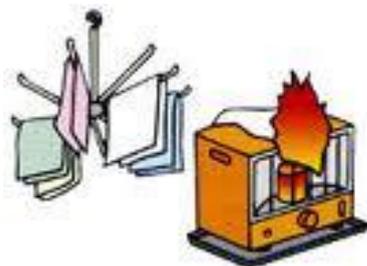


# 原因別火災発生状況 No.1

平成25年中の火災発生状況を、出火原因別に見ると、次のとおりです。

原因別火災発生状況の第1位は、放火（疑いを含む）が最も多い16件で、前年と比べ5件減少し、全体の29%を占めております。

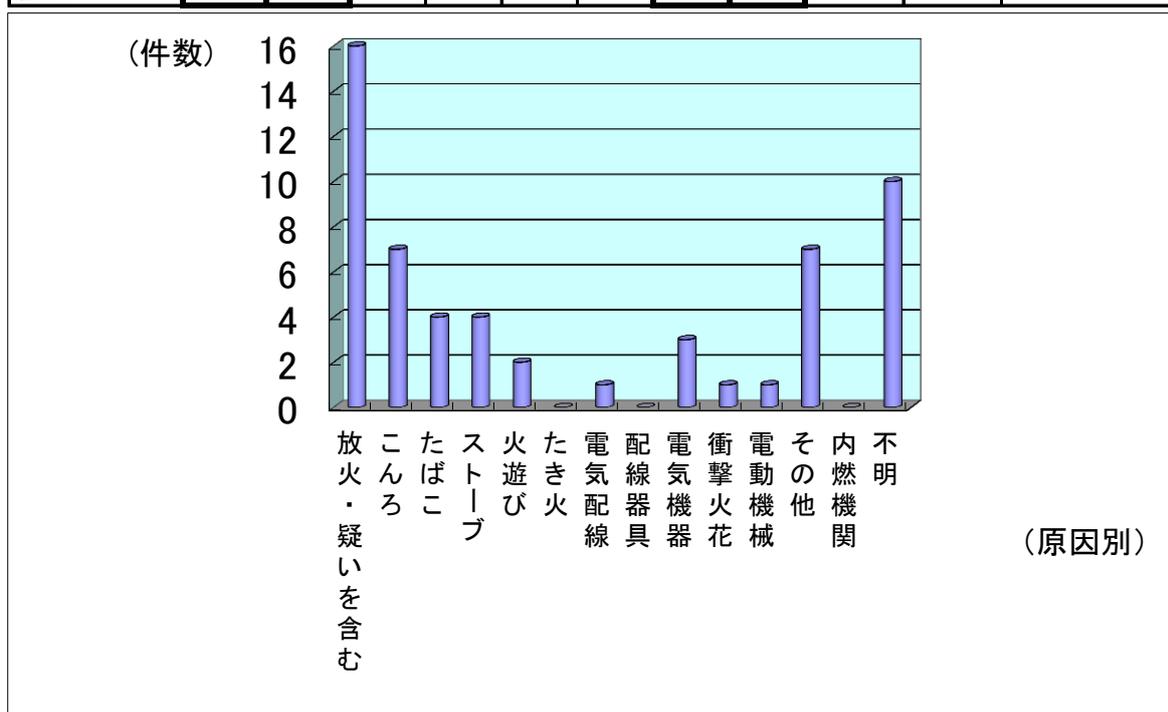
次にこんろの7件（住宅や店舗）、たばこ、ストーブの4件でした。



# 原因別火災発生状況 No.2

※ 焼損程度・焼損床面積・焼損表面積・建物損害額は、類焼含む。

	合計	建物火災	焼損程度				車両火災	その他火災	焼損床面積 (m <sup>2</sup> )	焼損表面積 (m <sup>2</sup> )	建物損害額 (千円)
			全焼	半焼	部分焼	ぼや					
放火・疑いを含む	16	3				3		13		1	105
こんろ	7	7		1	2	5		96	22	16,780	
たばこ	4	4			3	1		16	1	1,515	
ストーブ	4	4				4		2		30	
火遊び	2	1			1			1	9		
たき火	0	0									
電気配線	1	0					1				
配線器具	0	0									
電気機器	3	3				3				50	
衝撃火花	1	0					1			100	
電動機械	1	1			1			1			
その他	7	2				2	2	3	1	1	7,560
内燃機関	0	0									
不明	10	6			3	3	1	3	49	1	27,200
合計	56	31	0	1	10	21	5	20	165	35	53,340



# 近年の推移から見る平成25年の特徴

## 1 火災件数について

火災発生件数は、社会の諸状況によって大きく変化します。

特に放火等は出火の増減に大きく影響します。

平成25年中の火災総発生件数は、前年と比較し8件減少し、過去10年間で最も少ない56件でした。

放火等（疑いを含む）による出火は16件で、前年より5件減少しましたが、原因別では、24年連続でワースト1になっています。

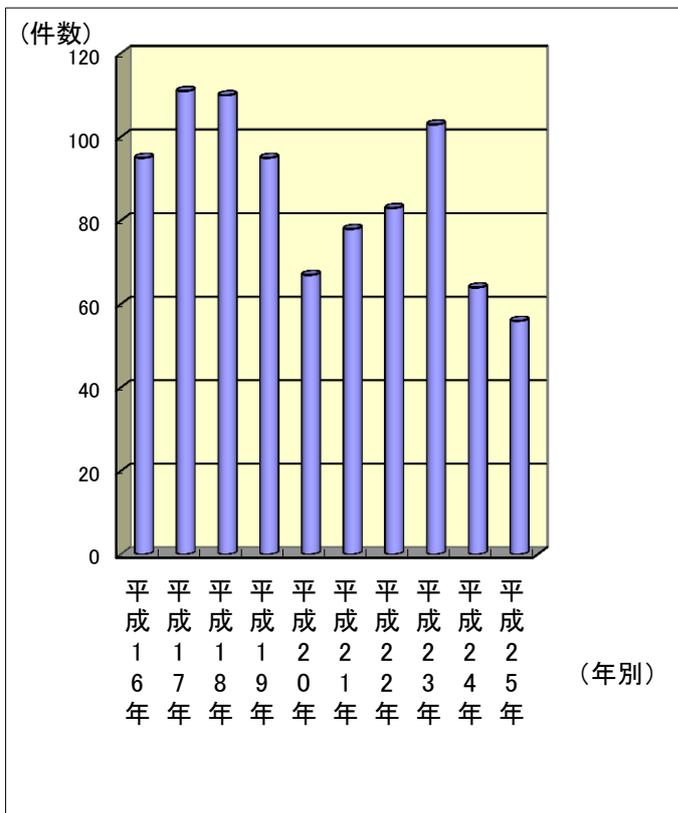
また、車両火災については前年より4件減少し、その他火災については前年と同様の20件発生しました。

## 2 出火率について

出火率とは、年内の火災総発生件数を草加市の人口1万人当たりで表したものです。

平成25年中は、2.3ポイントと前年より0.3ポイント減少し、過去10年間で最も低い出火率となりました。

### 火災件数の推移



### 出火率の推移

	火災件数	人口	出火率
平成16年	95	237,535	4.0
平成17年	111	238,314	4.7
平成18年	110	238,951	4.6
平成19年	95	239,896	3.9
平成20年	67	241,279	2.7
平成21年	78	242,175	3.2
平成22年	83	243,235	3.4
平成23年	103	244,401	4.2
平成24年	64	243,951	2.6
平成25年	56	244,013	2.3
平均	86	241,375	3.6

※ 出火率は件数／人口×10,000

※ 人口は各年12月1日現在

## 近年の火災原因の推移について

平成25年中に発生した火災総件数56件の原因内訳を見ると、放火（疑いを含む）によるものが16件発生し、前年と比較し5件減少となっています。

次に多く発生しているのがこんろの7件で、前年より1件増加しました。

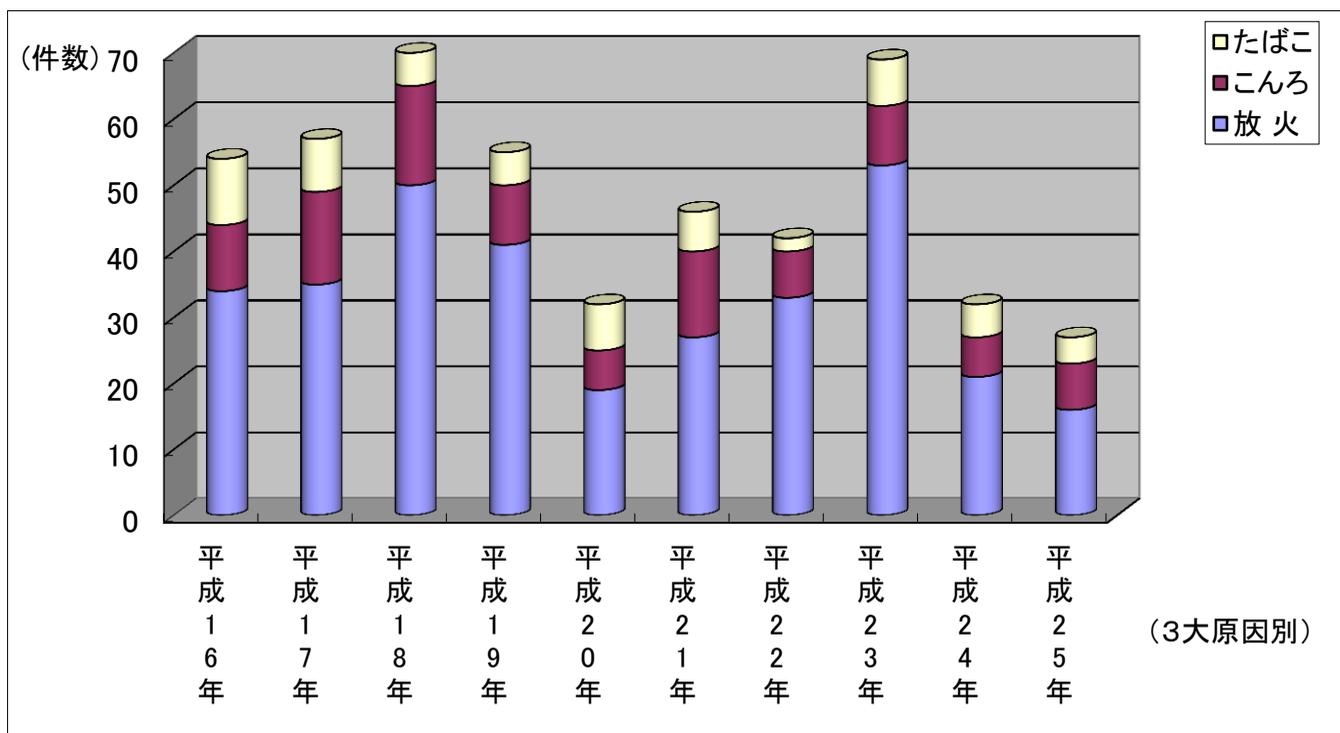
次いでたばこの4件で、前年より1件の減少となりました。

また、社会環境の進展や変化に伴い、火災の原因も多様化し、火災原因の究明もますます複雑かつ困難になっているのが現状です。

## 主な火災原因の推移

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	合計
放火	34	35	50	41	19	27	33	53	21	16	329
こんろ	10	14	15	9	6	13	7	9	6	7	96
たばこ	10	8	5	5	7	6	2	7	5	4	59
合計	54	57	70	55	32	46	42	69	32	27	484
年間火災	95	111	110	95	67	78	83	103	64	56	862
割合	56.8%	51.4%	63.6%	57.9%	47.8%	59.0%	50.6%	67.0%	50.0%	48.2%	56.1%

※ 放火は、疑いを含む



## 過去10年間の火災概況

区分 年別	火災件数(件)				焼損棟数(棟)					焼損面積(m <sup>2</sup> )		損害見積額 (千円)	死傷者		り災世帯(世帯)				り災人員 (人)
	建物火災	車両火災	その他火災	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計	床面積	表面積		死者	負傷者	全損	半損	小損	合計	
平成16年	49	10	36	95	2	3	33	22	60	556	53	80,524	1	11	4	4	38	46	122
平成17年	50	12	49	111	11	7	27	21	66	7,373	91	1,077,177	5	23	3	5	27	35	117
平成18年	56	9	45	110	6	2	18	30	56	988	25	37,516	2	26	4	2	29	35	140
平成19年	59	9	27	95	5	10	23	30	68	1,484	81	87,244	6	23	14	7	38	59	161
平成20年	38	3	26	67	8	3	22	24	57	1,859	144	104,794	1	13	16	4	38	58	116
平成21年	48	10	20	78	3	1	21	28	53	448	24	45,025	1	10	8	1	55	64	130
平成22年	32	11	40	83	5	3	18	15	41	678	8	21,215	0	10	5	2	27	34	73
平成23年	51	6	46	103	6	2	24	30	62	1,069	95	54,547	3	12	13	0	35	48	124
平成24年	35	9	20	64	10	4	19	18	51	1,128	137	83,895	1	7	10	6	26	42	103
平成25年	31	5	20	56	0	1	10	21	32	165	35	53,340	1	2	1	1	21	23	53

# 緊急消防援助隊の登録状況

## 緊急消防援助隊登録部隊数 《全国》

(平成25年4月1日現在)

指揮支援部隊	38隊	航空部隊	73隊
都道府県隊指揮隊	111隊	水上部隊	18隊
消火部隊	1,633隊	特殊災害部隊	276隊
救助部隊	412隊	特殊装備部隊	373隊
救急部隊	1,043隊	全国 762消防本部	
後方支援部隊	732隊	4,594隊(重複除く)	

## 緊急消防援助隊登録隊数 《草加市》

消火部隊	1隊	5人
救助部隊	1隊	5人
救急部隊	2隊	6人
特殊災害部隊	1隊	5人
計	5隊	21人

## 緊急消防援助隊の出動状況【平成16年4月1日法制化以降】

- ・平成16年 7月13日 新潟・福島豪雨
- ・平成16年 7月18日 福井豪雨
- ・平成16年10月21日 台風23号兵庫県豊岡市水害
- ・平成16年10月23日 新潟県中越地震(震度7)
- ・平成17年 3月20日 福岡県西方沖を震源とする地震災害(震度6)
- ・平成17年 4月25日 JR西日本福知山線列車事故
- ・平成19年 1月30日 奈良県吉野郡上北山村土砂崩れ車両埋没事故
- ・平成19年 3月25日 能登半島地震(震度6強)
- ・平成19年 4月15日 三重県中部を震源とする地震(震度5強)
- ・平成19年 7月16日 新潟県中越沖地震(震度6強)
- ・平成20年 6月14日 岩手・宮城内陸地震(震度6強)
- ・平成20年 7月24日 岩手県沖岸北部を震源とする地震(震度6強)
- ・平成21年 8月11日 駿河湾を震源とする地震(震度6弱)
- ・平成23年 3月11日 東日本大震災(震度7)
- ・平成25年10月16日 台風26号伊豆大島土砂崩れ

# 救急統計



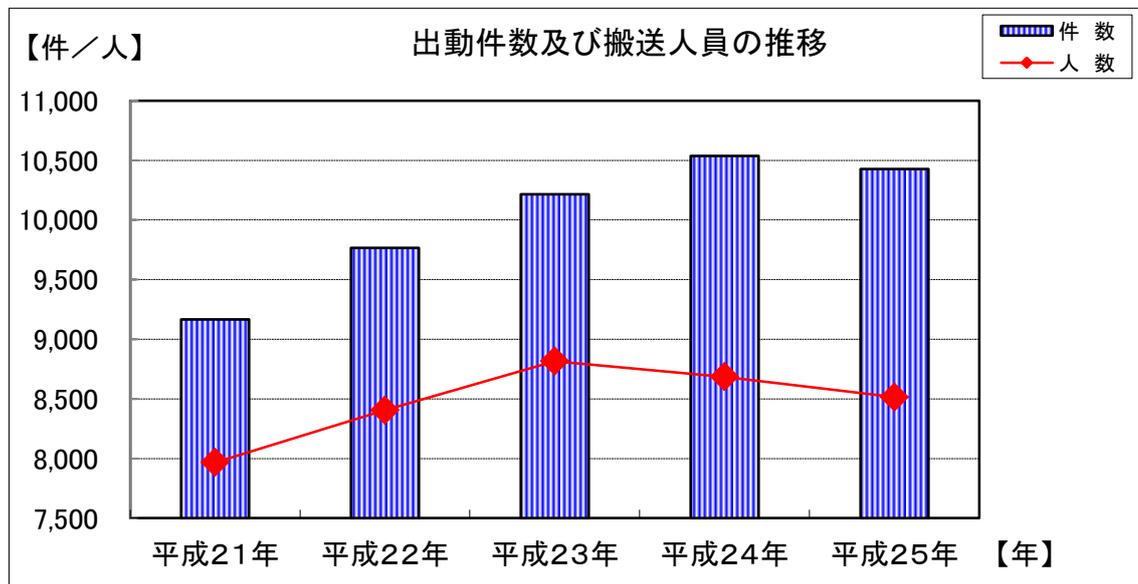
# 救急業務の実施状況

平成25年中の救急出動件数は、10,427件で前年と比較すると110件（-1.0%）の減少となりました。また、搬送人員は、8,515人で前年と比較すると169人（-1.9%）の減少となりました。

1日の平均出動は、約29件となり、市民の約29人に1人が救急車により搬送されたこととなります。

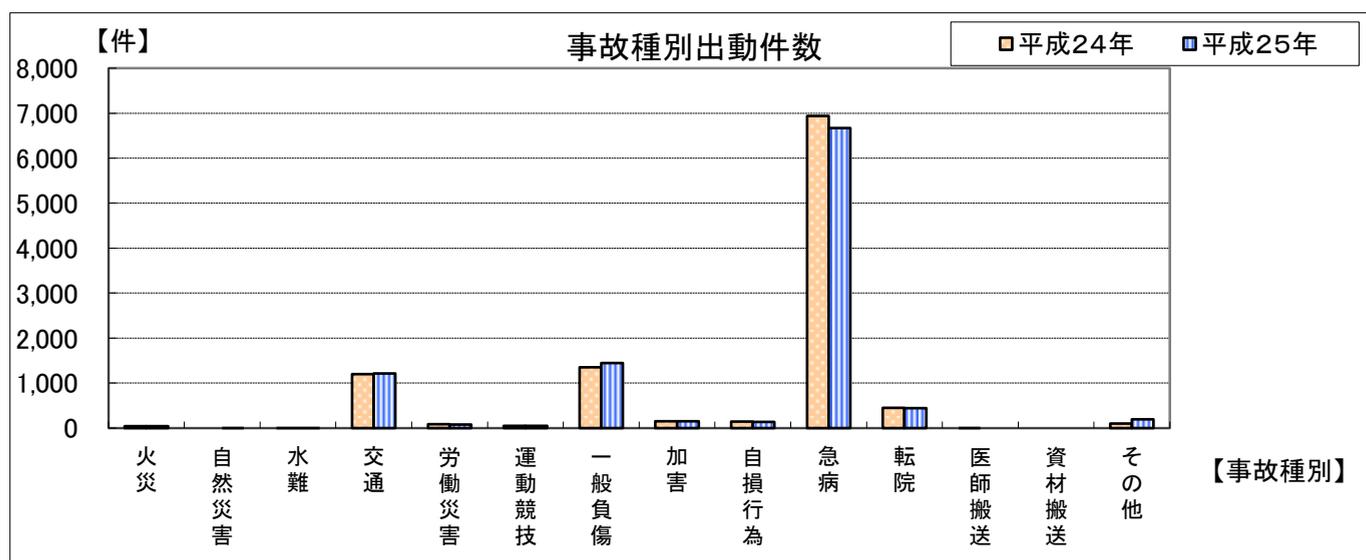
救急出動件数及び搬送人員の推移

	救急出動件数		搬送人員	
	件数	対前年比	人数	対前年比
平成21年	9,165	213 (2.4%)	7,967	134 (1.7%)
平成22年	9,765	600 (6.5%)	8,405	438 (5.5%)
平成23年	10,216	451 (4.6%)	8,816	411 (4.9%)
平成24年	10,537	321 (3.1%)	8,684	△132 (-1.5%)
平成25年	10,427	△110 (-1.0%)	8,515	△169 (-1.9%)



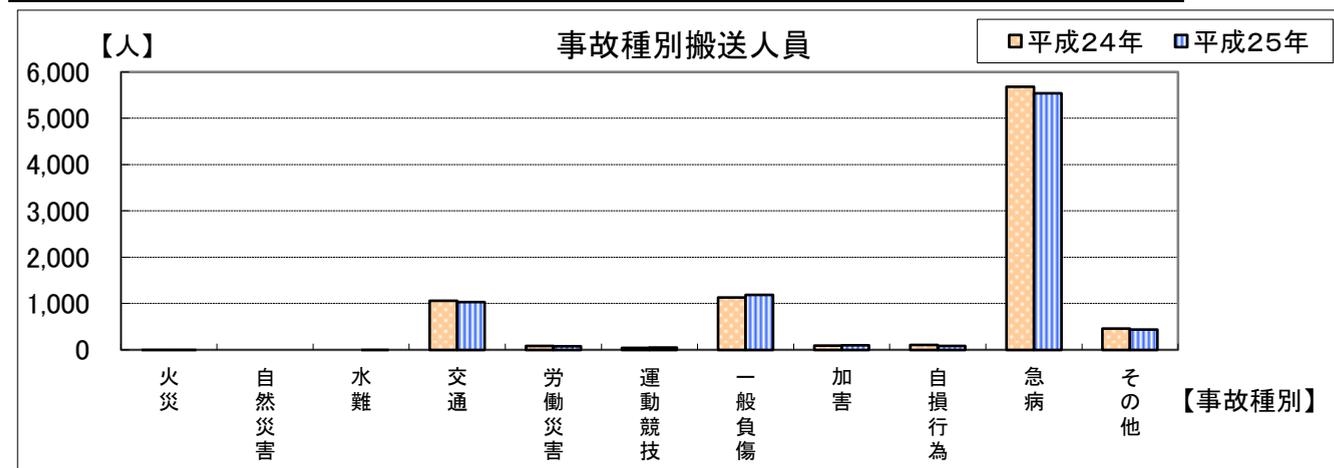
### 事故種別出動件数

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院	医師搬送	資材搬送	その他	合計
平成24年	44	0	1	1,202	88	49	1,351	155	148	6,942	452	1	0	104	10,537
平成25年	41	1	4	1,212	81	51	1,447	151	134	6,669	440	0	0	196	10,427
前年比	△ 3	1	3	10	△ 7	2	96	△ 4	△ 14	△ 273	△ 12	△ 1	0	92	△ 110



### 事故種別搬送人員

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
平成24年	7	0	0	1,062	86	47	1,135	96	109	5,682	460	8,684
平成25年	4	0	2	1,030	77	50	1,186	98	87	5,541	440	8,515
前年比	△ 3	0	2	△ 32	△ 9	3	51	2	△ 22	△ 141	△ 20	△ 169

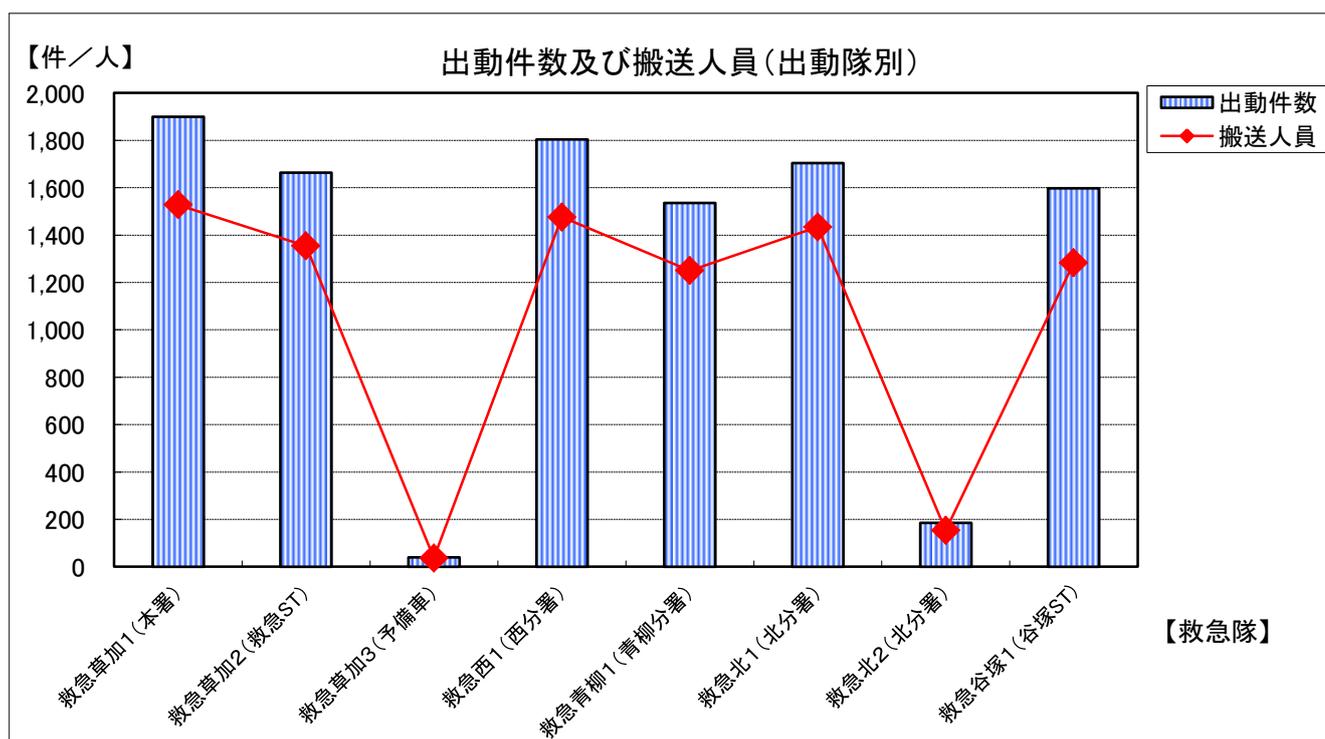


## 町名別救急出動件数

町名	件数	町名	件数	町名	件数
谷塚町	459	草加	315	住吉	138
氷川町	671	西町	291	谷塚上町	159
瀬崎	567	花栗	305	中根	198
松原	562	弁天	248	神明	86
青柳	622	新栄町	311	苗塚町	94
青柳町	5	松江	165	小山	86
旭町	369	中央	165	谷塚仲町	109
高砂	376	長栄町	205	原町	114
栄町	407	新里町	238	両新田西町	68
八幡町	383	柳島町	160	両新田東町	36
北谷	319	清門町	162	学園町	14
北谷町	0	遊馬町	179	谷塚	281
稲荷	299	柿木町	208		
吉町	292	新善町	220		
金明町	286	手代町	155		
東京都	4	川口市	4	越谷市	7
八潮市	35	外環道	50	その他	0
				合計	10,427

## 救急隊別出動件数・搬送人員

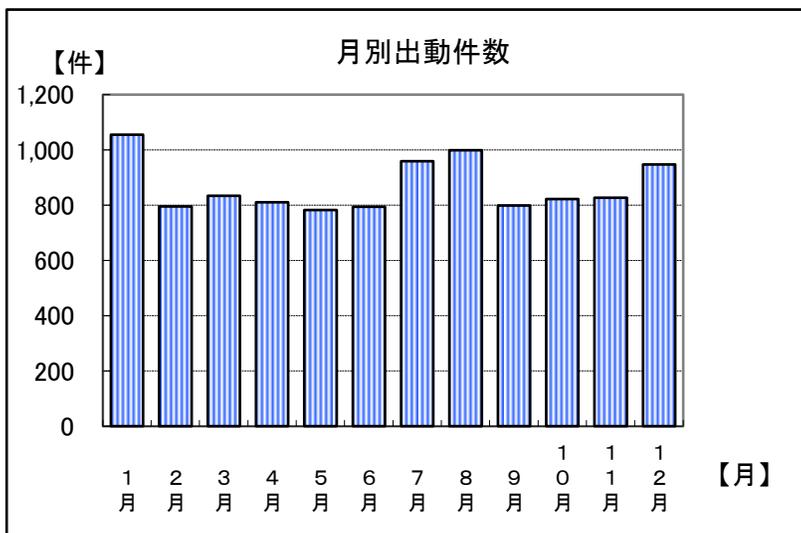
	出動件数	搬送人員
救急草加1(本署)	1,899	1,528
救急草加2(救急ST)	1,663	1,354
救急草加3(予備車)	40	37
救急西1(西分署)	1,803	1,476
救急青柳1(青柳分署)	1,536	1,250
救急北1(北分署)	1,704	1,434
救急北2(北分署)	185	153
救急谷塚1(谷塚ST)	1,597	1,283
計	10,427	8,515



# 月・曜日・時間別出動件数

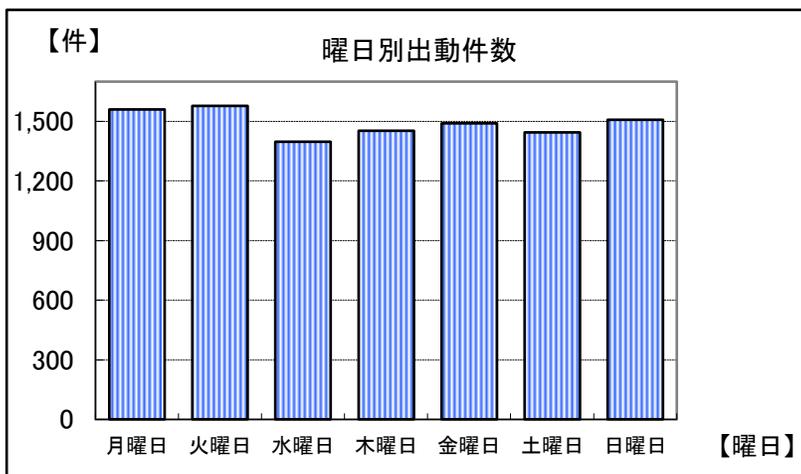
## 月別出動件数

月別	件数
1月	1,055
2月	795
3月	834
4月	811
5月	783
6月	794
7月	959
8月	999
9月	799
10月	823
11月	827
12月	948



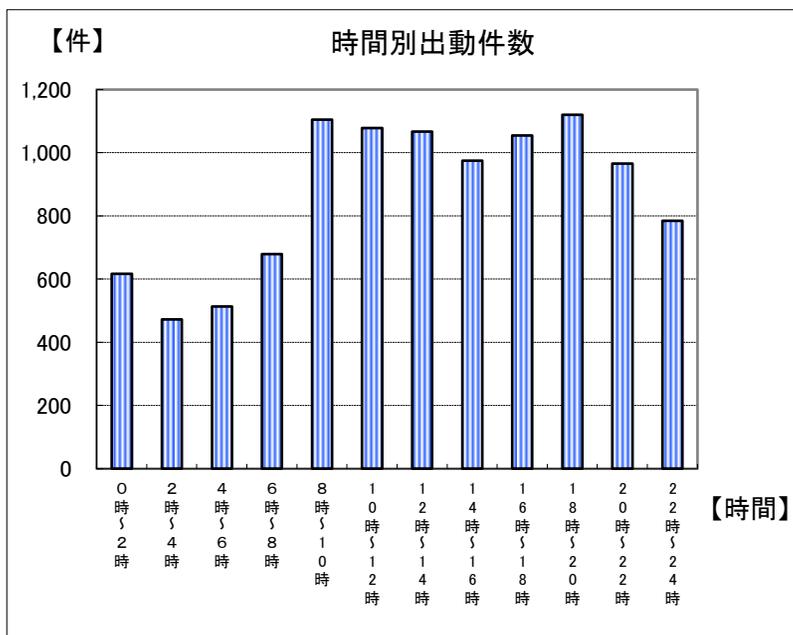
## 曜日別出動件数

曜日別	件数
月曜日	1,560
火曜日	1,578
水曜日	1,397
木曜日	1,452
金曜日	1,489
土曜日	1,444
日曜日	1,507



## 時間別出動件数

時間別	件数
0時～2時	616
2時～4時	472
4時～6時	513
6時～8時	679
8時～10時	1,104
10時～12時	1,078
12時～14時	1,067
14時～16時	975
16時～18時	1,054
18時～20時	1,120
20時～22時	965
22時～24時	784



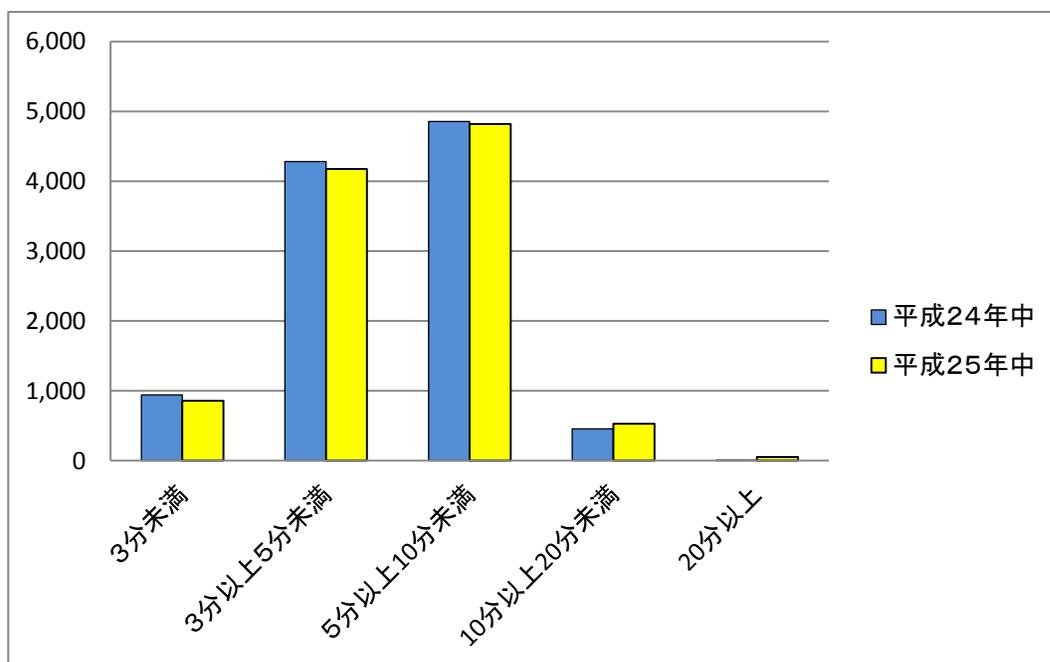
## 現場到着所要時間別出動件数(出場～現場到着)

救急隊が現場到着に要した平均現場到着所要時間は、5.6分です。  
(平成24年の平均5.4分)

※ 現場到着所要時間は、出場から現場に到着するまでに要した時間です。

現場到着所要時間別出動件数

到着時間	平成24年中	平成25年中
3分未満	940	855
3分以上5分未満	4,280	4,175
5分以上10分未満	4,857	4,818
10分以上20分未満	455	526
20分以上	5	53



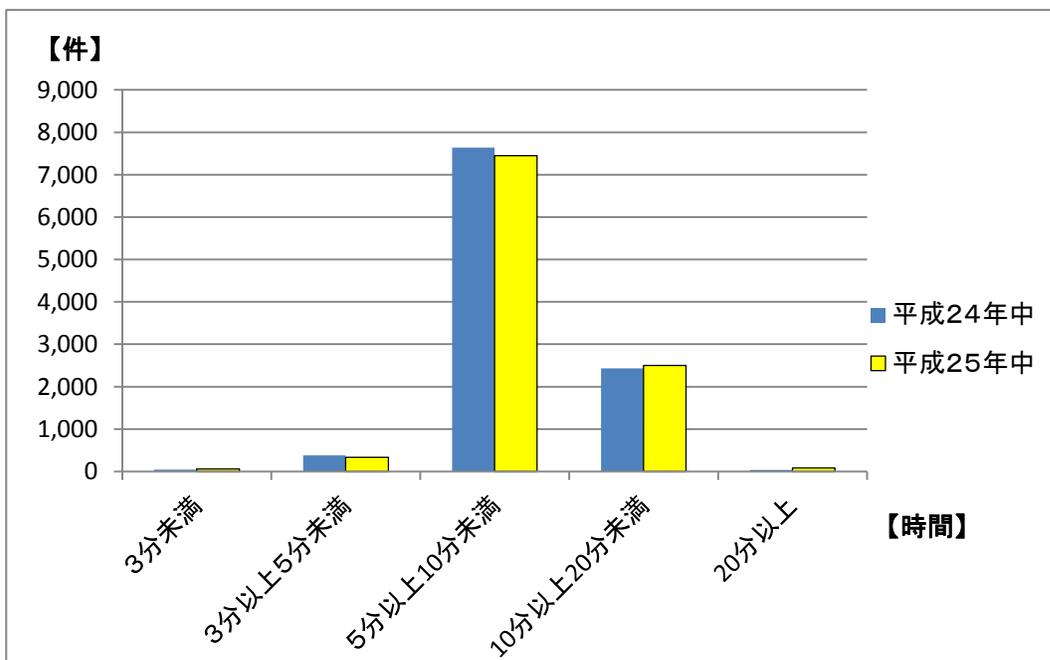
## 現場到着所要時間別出動件数(覚知～現場到着)

救急隊が現場到着に要した平均現場到着所要時間は、8.8分です。  
(平成24年の平均8.7分)

※ 現場到着所要時間は、救急事故の覚知から現場に到着するまでに要した時間です。

現場到着所要時間別出動件数

到着時間	平成24年中	平成25年中
3分未満	47	60
3分以上5分未満	380	336
5分以上10分未満	7,639	7,450
10分以上20分未満	2,429	2,497
20分以上	42	84

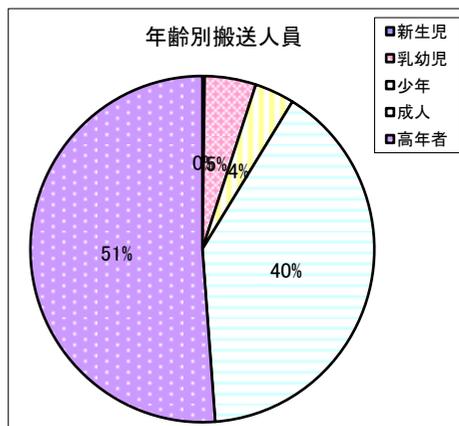


## 年齢別傷病程度別搬送人員No. 1

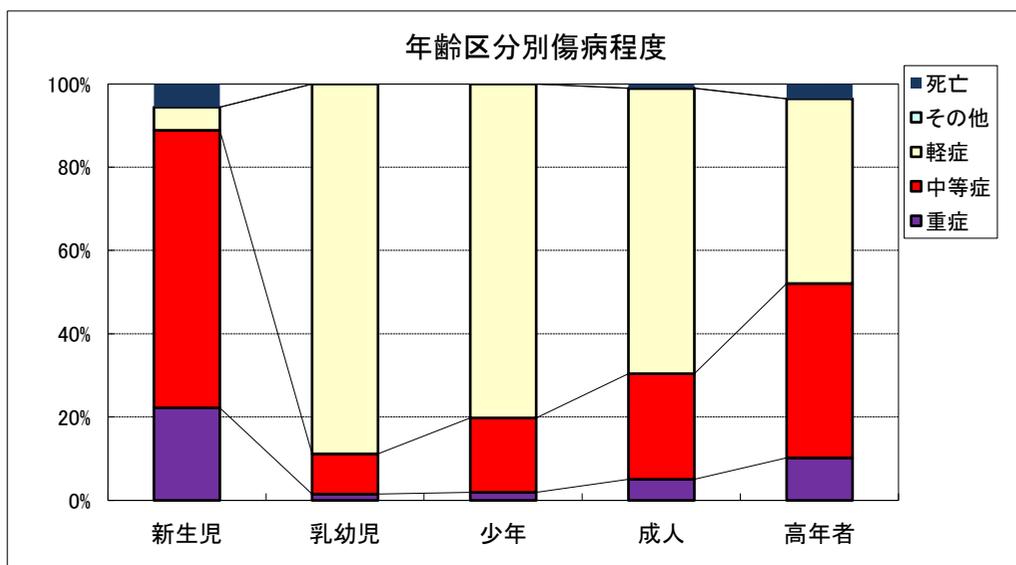
医療機関に搬送した8,515人のうち、成人が占める割合は40.0%（3,409人）高年者は51.2%（4,359人）となっています。

	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
新生児	1	4	12	1	0	18
乳幼児	0	6	40	365	0	411
少年	0	6	57	255	0	318
成人	35	171	865	2,337	1	3,409
高年者	157	444	1,827	1,931	0	4,359
合計	193	631	2,801	4,889	1	8,515

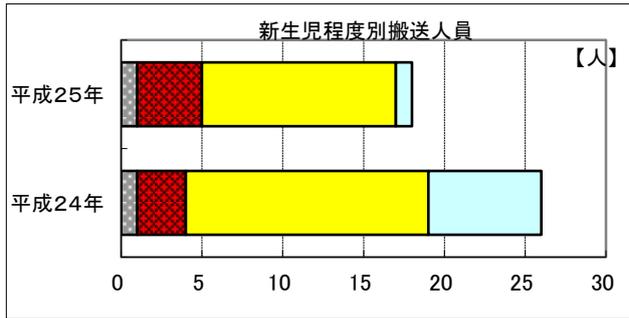
新生児・生後28日未満  
 乳幼児・生後28日以上～満7歳未満  
 少年・満7歳以上～満18歳未満  
 成人・満18歳以上～満65歳未満  
 高年者・満65歳以上



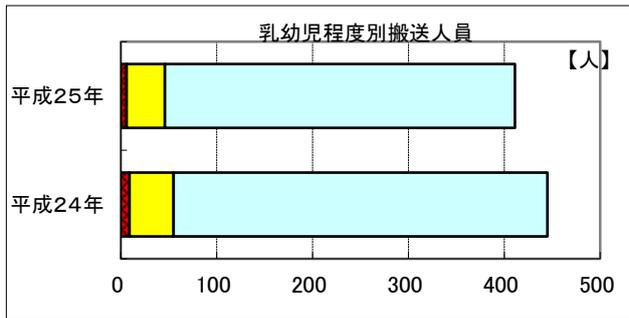
死亡—初診時において、死亡が確認されたもの  
 重症—傷病の程度が、3週間以上の入院加療が必要なもの  
 中等症—傷病の程度が、入院を要するもので重症に至らないもの  
 軽症—傷病の程度が、通院加療のもの



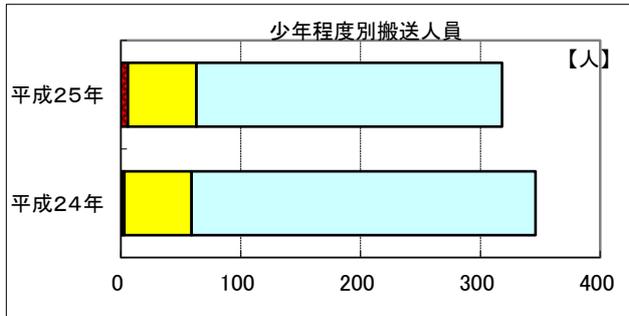
## 年齢別傷病程度別搬送人員No. 2



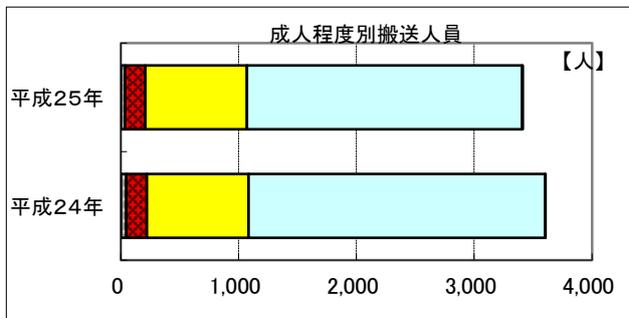
新生児	死亡	重症	中等症	軽症	その他
平成25年	1	4	12	1	0
対前年比	0	1	△3	△6	0



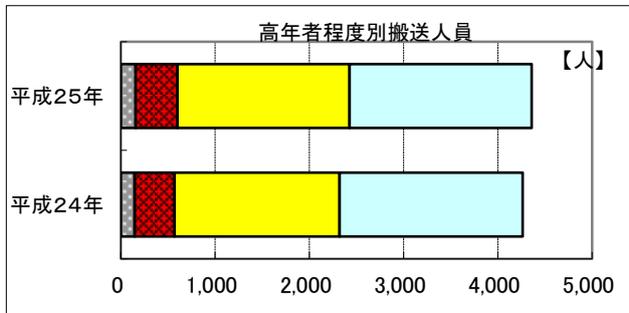
乳幼児	死亡	重症	中等症	軽症	その他
平成25年	0	6	40	365	0
対前年比	0	△3	△6	△25	0



少年	死亡	重症	中等症	軽症	その他
平成25年	0	6	57	255	0
対前年比	△1	4	1	△32	0



成人	死亡	重症	中等症	軽症	その他
平成25年	35	171	865	2,337	1
対前年比	△10	△5	2	△180	△1

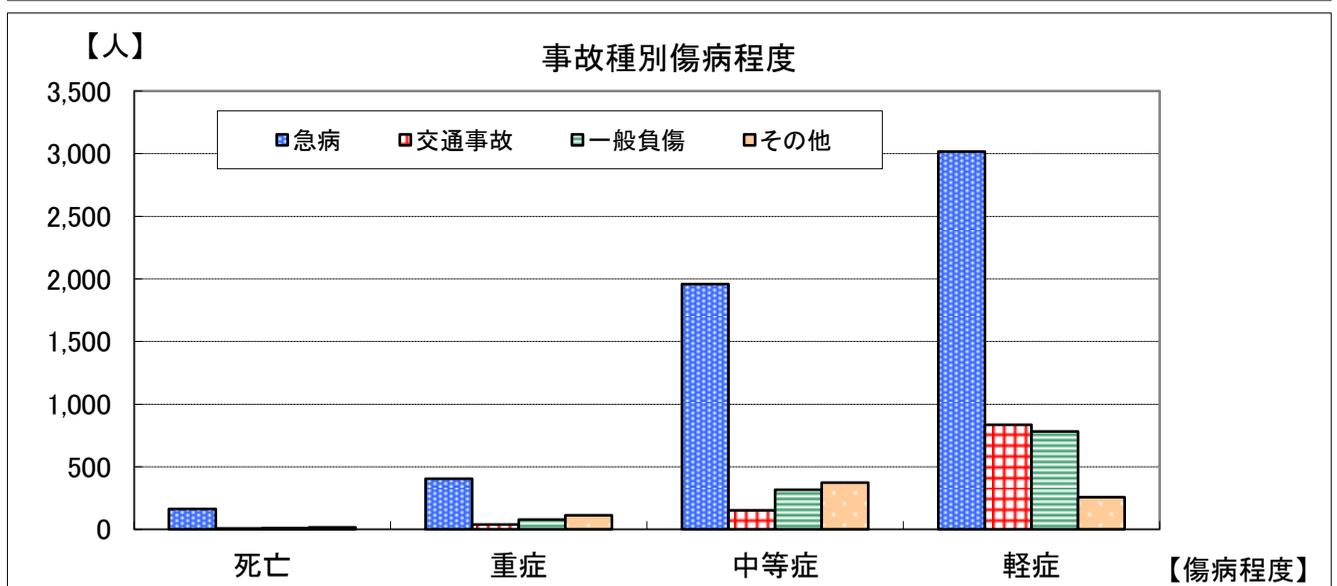
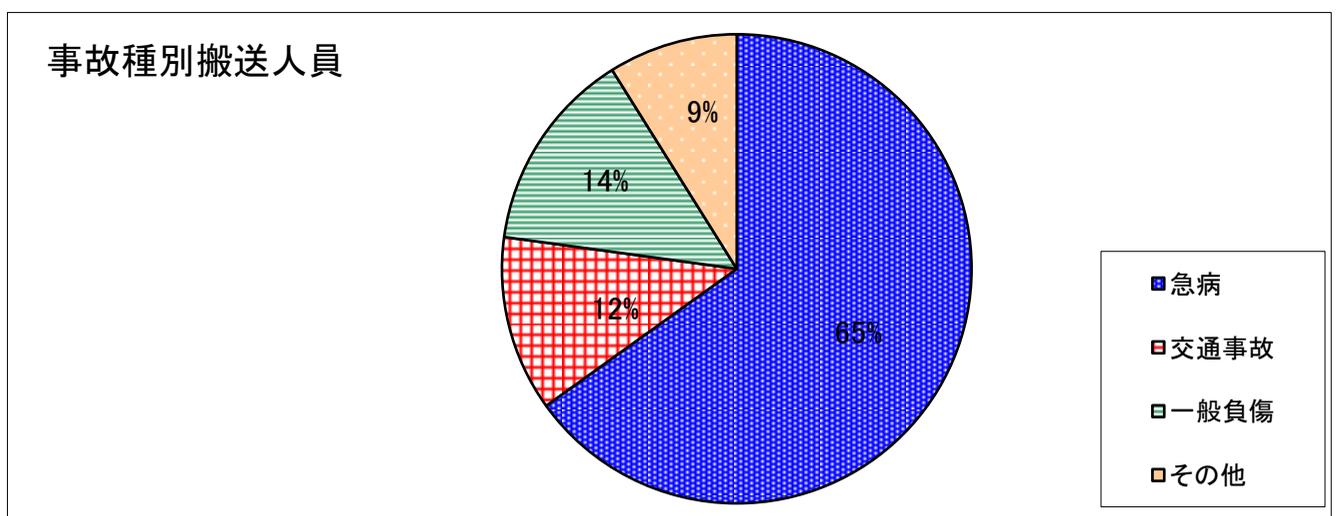


高年者	死亡	重症	中等症	軽症	その他
平成25年	157	444	1,827	1,931	0
対前年比	12	19	76	△12	0

## 事故種別傷病程度別搬送人員

「急病」は、5,541人と全体の約65.1%を占めています。  
 また、全体の約57%（4,889人）が入院を要しない軽症の傷病者でした。

	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
急病	163	403	1,959	3,015	1	5,541
交通事故	6	38	151	835	0	1,030
一般負傷	10	77	317	782	0	1,186
その他	14	113	374	257	0	758
合計	193	631	2,801	4,889	1	8,515



## 発生場所別搬送人員状況

	住宅	公衆出入場所	仕事場	道路	その他	計
急病	4,325	883	133	182	18	5,541
交通	10	36	0	982	2	1,030
一般負傷	653	282	13	221	17	1,186
その他	118	514	71	45	10	758
計	5,106	1,715	217	1,430	47	8,515

## 東京外環自動車道救急出動状況

種別	出動件数		搬送人員				合計
	件数	不搬送	軽症	中等症	重症	死亡	
交通	46	9	43	4	1	1	49
急病	1	0	1	0	0	0	1
その他	3	3	0	0	0	0	0
合計	50	12	44	4	1	1	50

※ 上記数値は、外環自動車道に出動した総件数で、1事故に複数台の救急隊が対応しています。

## 市民に対する救命処置の講習会

傷病者に対する救命効果の向上のためには、現場に居合わせた人(バイスタンダー)による応急手当が重要であることから、草加市消防本部では、救急要請に対して迅速・的確に対応し病院前救護の充実を図るため、AEDの普及及び市民等を対象とした応急手当講習(上級救命講習・普通救命講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)を実施し、救命率の向上を図っています。

応急手当講習の内容は、全体が簡素化され、どなたでも簡単に実施できる内容になっております。

普通救命講習Ⅰは、主に成人に対する心肺蘇生法(人工呼吸・胸骨圧迫)及びAEDの取扱いを中心とした3時間の講習会、普通救命講習Ⅱは、業務の内容や活動領域の性格から一定の頻度で心停止者に対し応急の対応をすることが期待・想定される方が対象となります(4時間)。

普通救命講習Ⅲは、主に小児・乳児・新生児に対する心肺蘇生法及びAEDの取扱いを中心とした3時間の講習会です。

さらに上級救命講習は、心肺蘇生法に加え傷病者管理法・外傷の手当て要領・搬送法等が加わった8時間の講習も行っています。

また、救命入門コースは応急手当の導入講習として、心肺蘇生法に必要な胸骨圧迫とAEDの使用方法を修得することを目的とした90分の講習会を実施しました。

普通救命講習(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)修了者数及び実施回数

	普通救命講習修了者数	普通救命講習実施回数	修了者総数
平成22年	1,840	103	18,650
平成23年	1,554	84	20,204
平成24年	1,652	86	21,856
平成25年	1,351	77	23,207

上級救命講習修了者数及び実施回数

	上級救命講習修了者数	上級救命講習実施回数	修了者総数
平成22年	44	2	304
平成23年	40	2	344
平成24年	38	2	382
平成25年	39	2	421

救命入門コース参加者及び実施回数

	救命入門コース参加者	救命入門コース実施回数	参加者総数
平成25年	96	5	96

# 救助統計

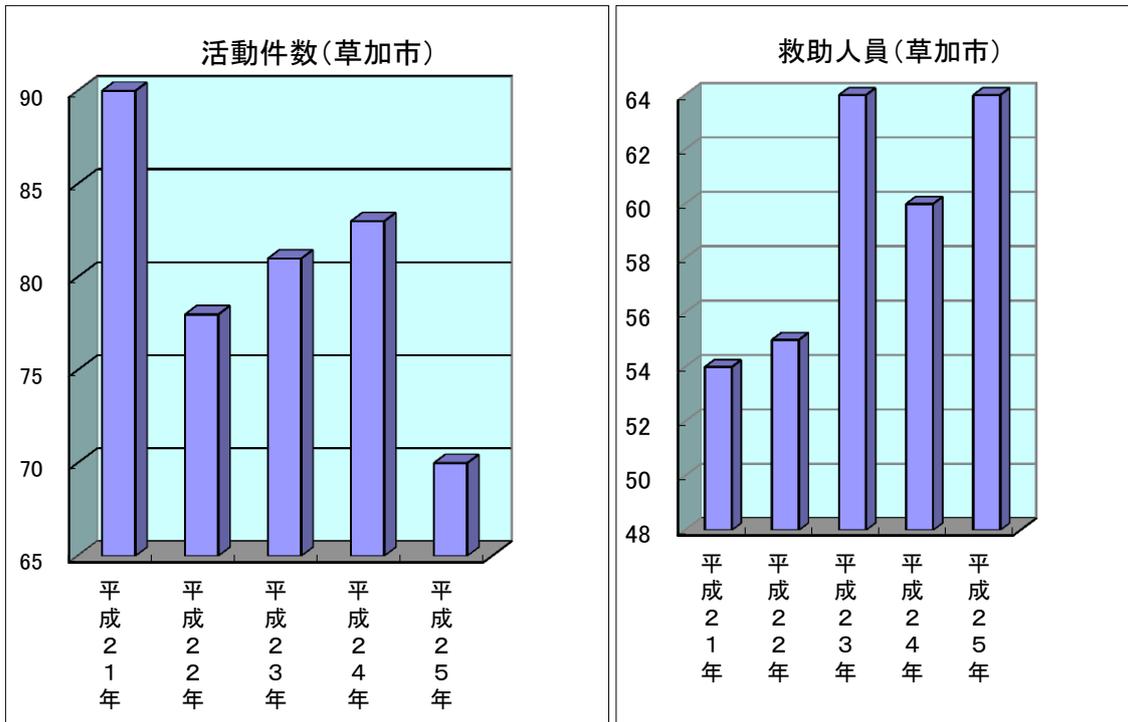


## 救助活動状況の概要

平成25年は、長崎県長崎市のグループホーム火災、千葉県野田市の工場爆発火災、埼玉県越谷市を中心とする竜巻災害をはじめ、台風等による局地的豪雨・土砂災害等の事象が全国的に発生し、各消防機関が人命救助活動を行いました。  
草加市における救助活動件数は、前年より13件減少しました。

救助活動件数及び救助人員の推移

	救助活動件数			救助人員		
	草加市	埼玉県	全国	草加市	埼玉県	全国
平成21年	90	2,253	53,114	54	1,528	54,991
平成22年	78	2,357	55,031	55	1,684	58,682
平成23年	81	2,574	57,641	64	1,859	63,618
平成24年	83	2,531	56,103	60	1,828	59,338
平成25年	70	未集計	未集計	64	未集計	未集計



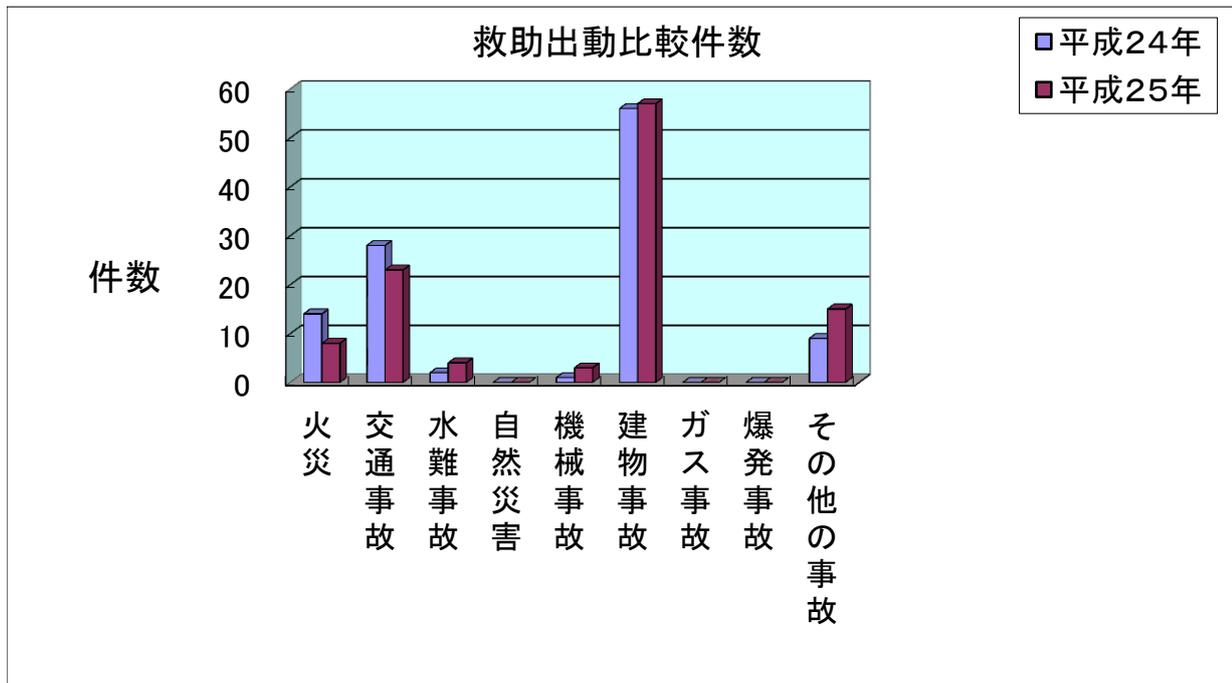
※ 消防機関が行う救助活動とは、現に発生している災害等に起因する障害等から、要救助者を安全に救助・救命することを目的として行う一連の行動を言います。

## 事故種別救助出動状況

平成25年の救助出動は前年と同件数で、事故種別内訳についても前年と大きな変化もなく、建物事故が52%を占めています。

救 助 出 動 件 数

	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス事故	爆発事故	その他の事故	合計
平成24年	14	28	2	0	1	56	0	0	9	110
平成25年	8	23	4	0	3	57	0	0	15	110

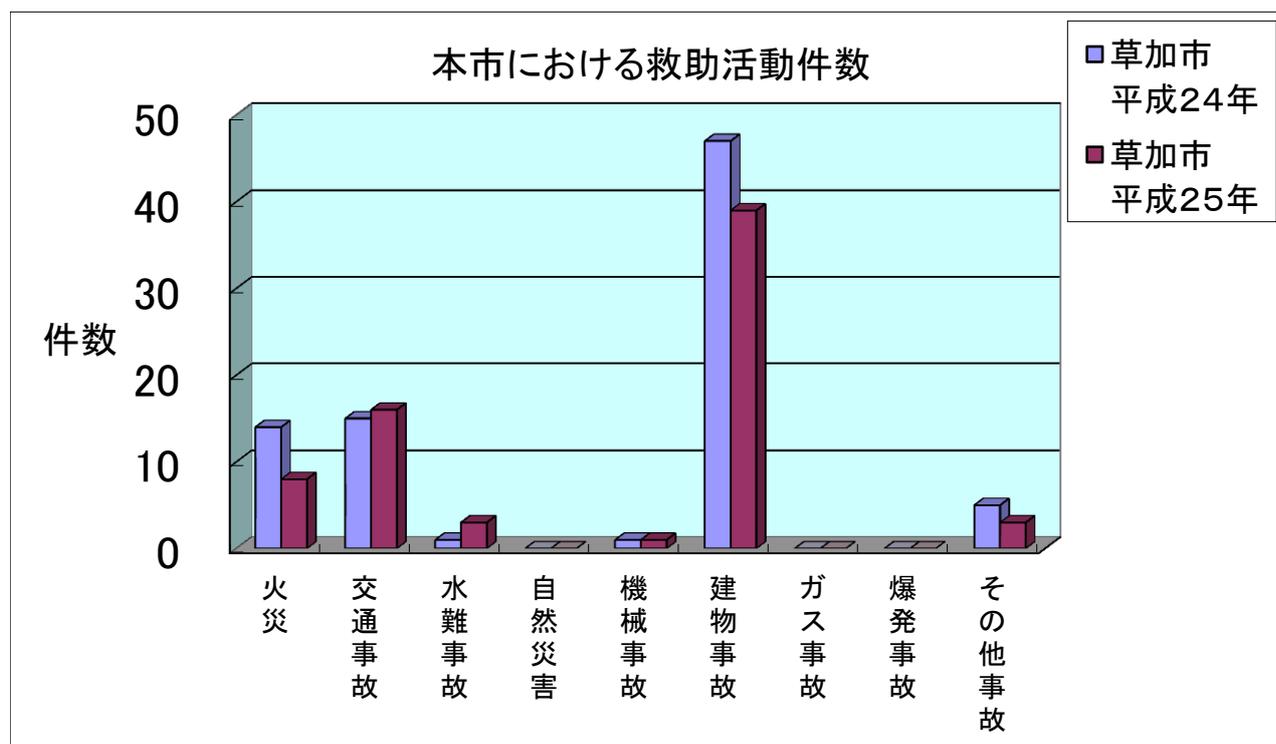


## 事故種別救助活動状況

救助活動件数とは、消防機関(主に救助隊)が各種事象において救助活動を行った件数であり、平成25年は出動件数の約63%を占めています。  
 その中でも、平成25年の傾向として交通事故及び建物事故の救助活動が多く、全体の約78%を占めています。

### 救助活動件数

	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス事故	爆発事故	その他事故	合計
草加市 平成24年	14	15	1	0	1	47	0	0	5	83
草加市 平成25年	8	16	3	0	1	39	0	0	3	70
県内 平成23年	775	540	118	16	65	558	41	0	461	2,574
県内 平成24年	753	532	105	0	50	620	23	0	448	2,531
全国 平成23年	5,682	16,194	2,648	1,244	1,165	20,783	439	19	9,467	57,641
全国 平成24年	4,797	16,080	2,644	307	989	21,383	399	7	9,497	56,103

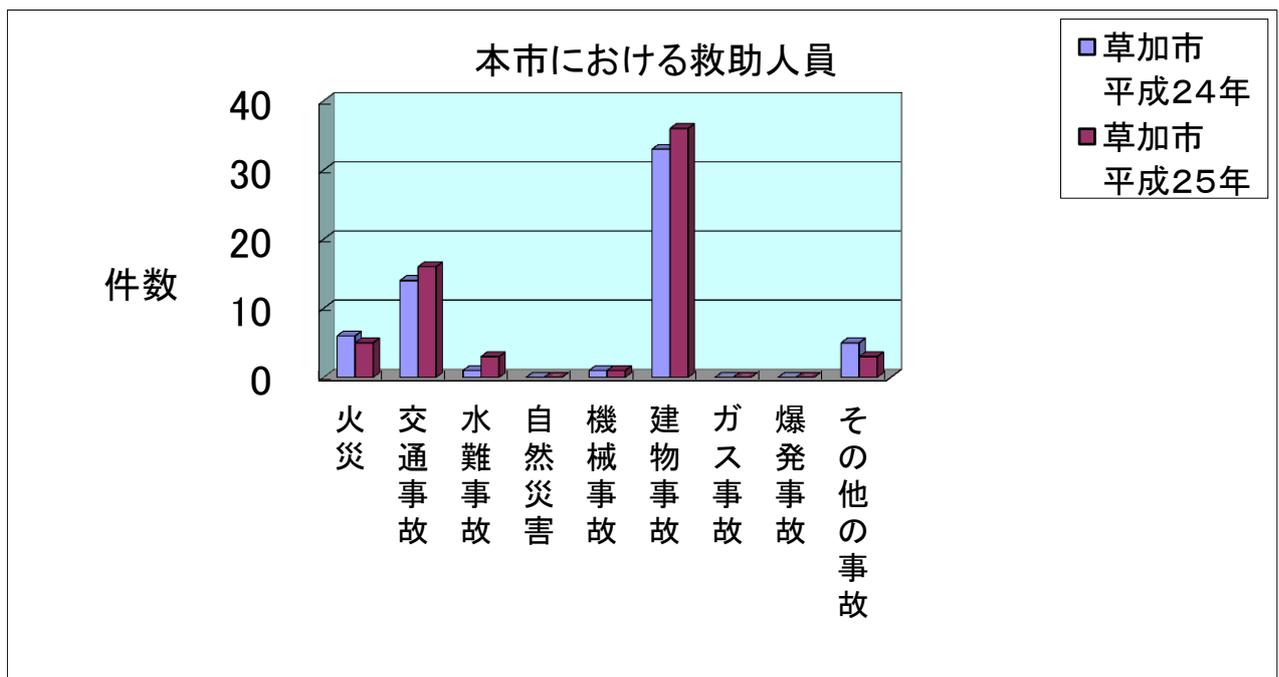


## 事故種別救助人員

救助人員とは、消防機関(主に救助隊)が救助活動により救出した人員を言います。平成25年の傾向として、交通事故及び建物事故の救助人員が多く、全体の約81%を占めています。

本市等における救助人員

	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス事故	爆発事故	その他の事故	合計
草加市 平成24年	6	14	1	0	1	33	0	0	5	60
草加市 平成25年	5	16	3	0	1	36	0	0	3	64
県内 平成23年	124	592	87	34	71	475	38	0	438	1,859
県内 平成24年	113	612	87	0	66	536	11	0	403	1,828
全国 平成23年	1,995	21,578	2,903	6,472	1,391	19,546	367	25	9,341	63,618
全国 平成24年	1,870	21,610	3,745	1,152	1,185	19,962	397	9	9,408	59,338





# 平成25年中の主な救助活動事例

## 1 交通事故

乗用車とトラック2台の関係する交通事故で、最後尾の2tトラックを運転していた男性が脱出不能となり救助要請。男性はハンドル及びペダルに胸部から両下肢までを挟まれている状態であったため、大型油圧救助器具を使用し、運転席ドアの破壊及び挟まれ部分の拡張を行い、バックボードにて救出する。

(所要時間25分)

## 2 交通事故

4tトラックと大型トラックの関係する交通事故で、4tトラックの運転手の男性がトラックと側壁との間に右下肢が挟まれたため救助要請。車両の固定を実施した後、エアージャッキにより車両左前輪部を持ち上げ、右下肢の挟まれを解除し救出する。

(所要時間13分)

## 3 建物事故

女性が、一般住宅2階居室内において腰痛による体動困難となったため救助要請。2階ベランダ部分に三連梯子を架梯し、要救助者をワイヤーバスケットストレッチャーに収容後、梯子水平救助第二法にて救出する。

(所要時間19分)

## 4 その他の事故

母親が乗用車内に男児を残し、鍵を車内に置いたまま、ドアロックをしてしまったため救助要請。車両右側後方の三角窓をレスキューハンマーにて破壊後、ドアの鍵を開錠し救出する。

(所要時間13分)

# 119番統計



# 119番通報状況

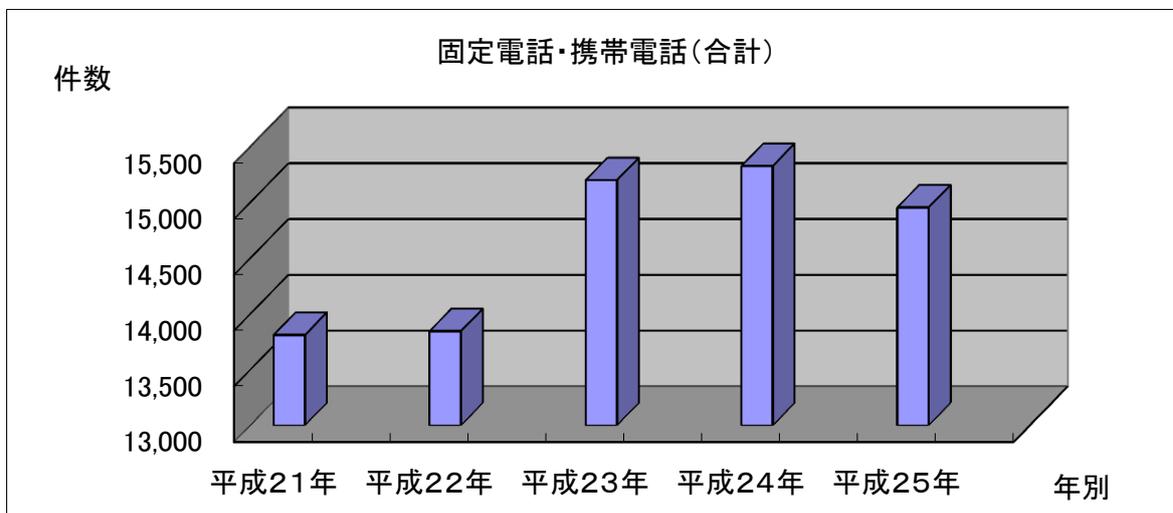
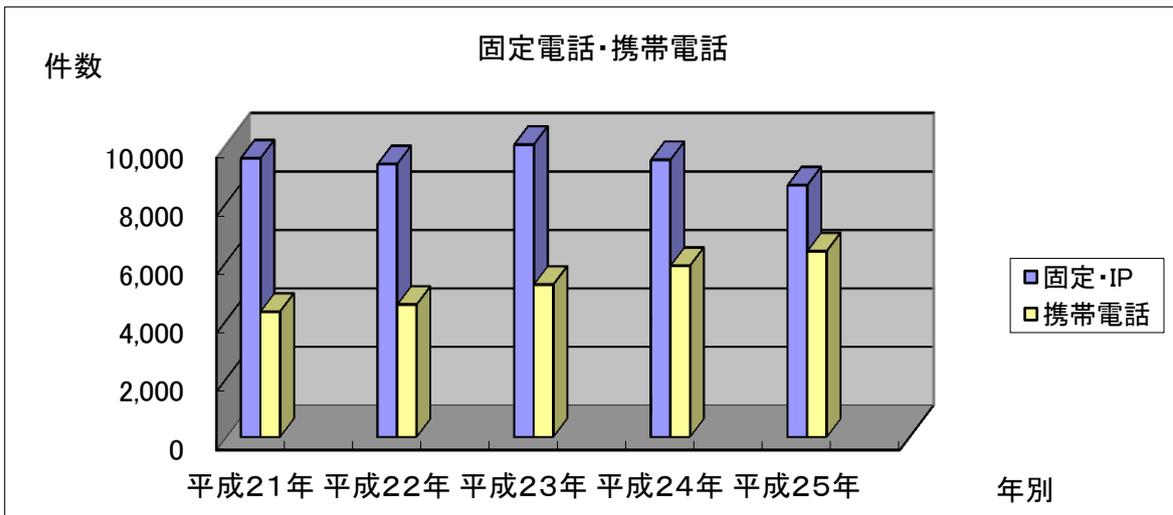
平成25年中の通報件数は、14,954件でした。

その内、携帯電話による通報は、6,352件で昨年(5,853件)より約8.5%増加し、年々増加傾向にあります。

通報内容は、災害(火災、救急、救助、警戒)が9,553件で、全体の約64%で最も多く、次に休日当番医等の問い合わせが2,040件で約14%、いたずら・間違い通報が1,571件で約11%、近隣消防本部への転送が482件で約3%でした。

その他の824件の中には、ペンダント所持者からの要請が24件、救急ネット登録者に関する救急要請が51件ありました。

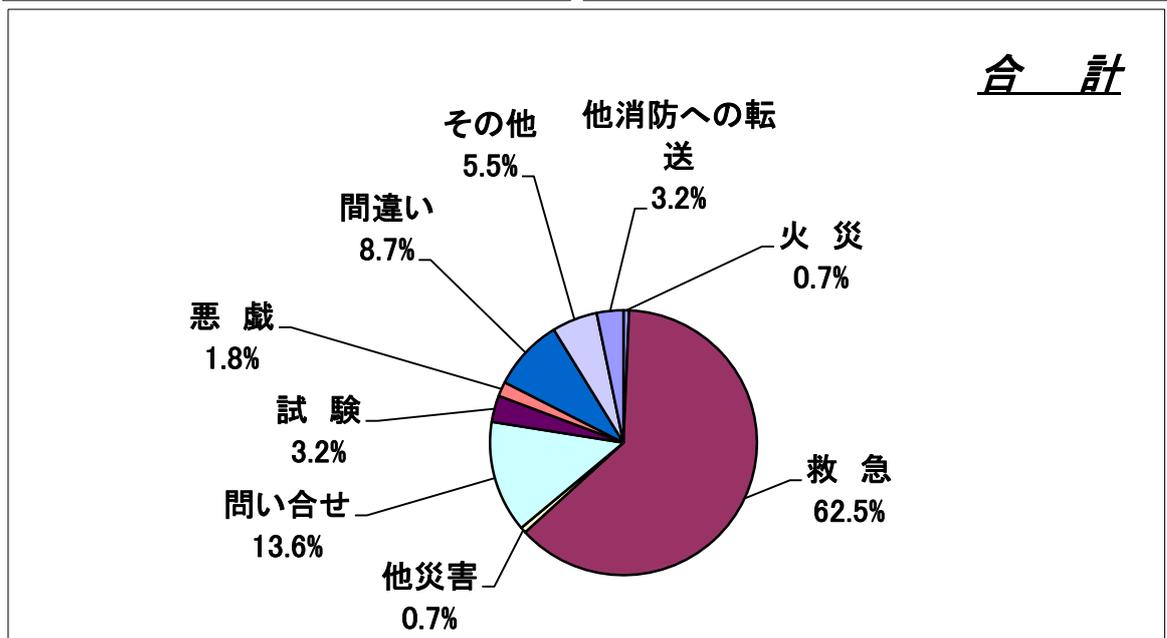
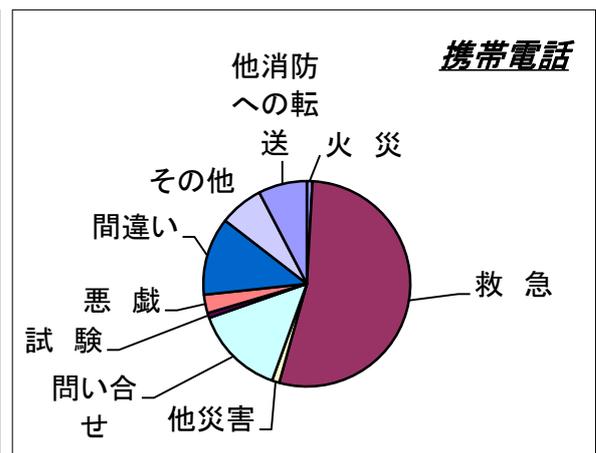
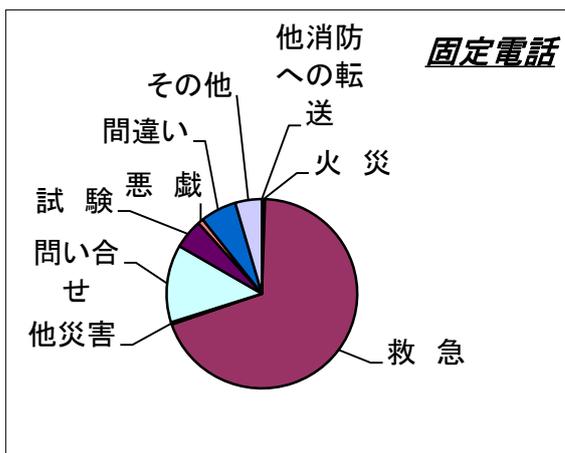
	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
固定・IP	9,527	9,324	9,993	9,473	8,602
携帯電話	4,282	4,520	5,205	5,853	6,352
合計	13,809	13,844	15,198	15,326	14,954



# 平成25年火災報知専用電話等(119番)種別受信状況

受信内訳	固定・IP電話	携帯電話	累 計
火 災	46	56	102
救 急	5,952	3,394	9,346
他災害	33	72	105
問い合わせ	1,141	899	2,040
試 験	434	50	484
悪 戯	79	185	264
間違い	529	778	1,307
その他	388	436	824
他消防への転送	0	482	482
合 計	8,602	6,352	14,954

※ 同一災害で、複数通報や結果として災害に至らなかった場合等がありますので、災害件数と一致しません。







# 草加市消防本部